

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会

目 次

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業	障害者就労支援事業	・・・	1
	福祉バスふれあい号の運営管理	・・・	3
	みんなといっしょの運動会（障害者運動会）	・・・	4
	夏の親子レクリエーション	・・・	5
	地域ネットワーク事業	・・・	5
	地域介護予防活動支援事業	・・・	10
	介護予防機能強化推進事業（生活支援コーディネーター）	・・・	12
	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務	・・・	13
在宅福祉事業	在宅高齢者ケアサービス事業	・・・	14
	移送サービス（日野ハディヤブ）事業	・・・	18
	高齢者食事宅配サービス事業	・・・	20
	車椅子貸出事業	・・・	21
	コミュニケーション支援事業	・・・	22
ボランティア活動推進事業	日野市ボランティア・センター	・・・	24
	日野市介護サポーター制度	・・・	41
	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know!」	・・・	42
助成事業	歳末たすけあい地域福祉活動助成	・・・	43
	地域支え合い福祉活動助成	・・・	44
	塚田・太田奨学資金、ヒカリ興業奨学基金	・・・	46
生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	・・・	48
福祉サービス利用援助事業	地域福祉権利擁護事業	・・・	51
	権利擁護センター日野	・・・	53
福祉人材育成事業	手話通訳者研修事業	・・・	57
	手話講習会	・・・	58
	福祉のしごと相談・面接会	・・・	61
	介護人材育成研修事業	・・・	62
	実習生の受入	・・・	64
法人運営事業	組織運営事業	・・・	65

公益事業拠点区分

福祉センター管理事業	日野市立中央福祉センターの管理運営	・・・	73
	日野市立湯沢福祉センターの管理運営	・・・	74
高齢者就業創出支援事業	しごとサポートひの	・・・	75

収益事業拠点区分

自動販売機設置管理事業	・・・	76
日野市役所内売店の運営	・・・	77

共同募金運動

赤い羽根共同募金運動	・・・	78
歳末たすけあい運動	・・・	81
日野市社会福祉協議会 組織体制	・・・	82

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業

事業名	障害者就労支援事業		
事業形態	独自事業		
財源内訳	利用料、会費、寄附金		
担当係	在宅サービス係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	障害者の就業に関係する団体同士のネットワーク化・連携を図る。 また、しごとパートナーを派遣することにより、既に就労またはこれから就労する障害者の社会参加活動等に寄与する。		
事業内容	1. しごとパートナー事業		
実績報告	1) 実績		
		しごとパートナー	のべ派遣人数
	28 年度	10 人	696 人
	27 年度	13 人	584 人
	■主な派遣先		
	すずかけの家（作業支援） 七生福祉園（発達・教育支援センター エール清掃業務支援） ふらっと・すずかけ（作業支援）		
実績報告	2) 情報交換会		
	7 回（5/31, 7/26, 9/20, 11/22, 1/31, 2/21, 3/28）		
	3) しごとパートナー養成講座		
	今年度は実施せず		
	4) 就労支援フェスタに出展		
	開催日 2/17（金） 開催場所 イオンホール 内容 ブース展示		
事業効果・評価 方向性等	・障害福祉サービス事業所での訓練や生産活動の現場において支援活動を行った。 ・現在、しごとパートナー事業立ち上げ当初の目的にそぐわない状況のため、見直しが必要となってきている。		

事業内容	2. 日野市障害者就業支援連絡会
実績報告	1) 連絡会 各団体から障害者就労支援に関する情報交換および年度下半期に開催した障害者就業支援セミナーに向けての検討を行った。 7回開催 (4/12, 6/14, 8/23, 10/11, 12/13, 1/24, 2/7) 2) 障害者就業支援フェスタ in 多摩平の森 (第10回日野市障害者就業支援セミナー) 市内の障害者就労の取り組みについて発信するイベント。連絡会参加団体の特性を活かしながら、ステージでの発表とブースでの団体紹介を行った。 開催日 2/17 (金) 参加者 140人 場所 イオンホール 内容 ・日野市内の障害者雇用企業の取り組み紹介 ・直近の障害者雇用の状況 ・パネルディスカッション 「日野市障害者就業支援連絡会 10年を振り返る」 ・日野市障害者就業支援連絡会の各団体紹介
事業効果・評価 方向性等	・障害者就業支援フェスタは、昨年度の全日開催から半日開催に改めて実施したが、参加者数は約40人増加した。 ・昨年度に引き続き、市内企業によるステージ発表が好評だった。
事業内容	3. 日野わーく・わーく
実績報告	日野わーく・わーくは、市内の障害福祉サービス事業所が参加するネットワーク。企業等からの請負業務を共同受注し、各事業所での仕事の開発、障害者の働く機会の開拓、工賃向上を目指すことを目的としている。 社協は、連絡会や豊田駅北口ショップ、共同販売会等を側面支援。 1) 連絡会 毎月開催 2) 広報協力 日野市ボランティア・センター広報紙「ボランティア①インフォメーション」(毎月発行)において、豊田駅北口ショップのイベントを毎号掲載した。
事業効果・評価 方向性等	・豊田駅北口ショップが日野市障害者生活・就労支援センターにこわーくに移転して2年目を迎えた。ショップの売上や認知度の向上のため、イベント等の広報周知を行った。

事業名	福祉バスふれあい号の運営管理														
事業形態	独自事業														
財源内訳	利用料、会費、繰入金														
担当係	総務係														
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる														
目的	高齢者や障害者等の外出機会の促進、市民活動の活性化を図るため、車椅子対応福祉バス「ふれあい号」を運行する。														
事業内容	1. 安全かつ円滑な事業運営														
実績報告	福祉施設や市民団体の活動支援のため、福祉バスを運行した。利用区分に応じ、優遇措置を設定している。 運行委託：南観光交通(株) 1) 基本利用料 64,800円 2) 利用区分（助成率） ①障害者団体（利用料の50%） ②市内団体（利用料の30%） ③市外団体（助成なし） 3) 運行実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>利用距離</th><th>件数</th><th>区分内訳</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td><td>6,787km</td><td>42件</td><td>①21件 ②21件 ③0件</td></tr> <tr> <td>27年度</td><td>4,826km</td><td>32件</td><td>①17件 ②15件 ③0件</td></tr> </tbody> </table>				利用距離	件数	区分内訳	28年度	6,787km	42件	①21件 ②21件 ③0件	27年度	4,826km	32件	①17件 ②15件 ③0件
	利用距離	件数	区分内訳												
28年度	6,787km	42件	①21件 ②21件 ③0件												
27年度	4,826km	32件	①17件 ②15件 ③0件												
事業効果・評価 方向性等	・福祉バスの運行ならびに利用料の一部助成をすることにより、市内障害者施設（団体）や老人クラブ連合会、サロン団体等の外出余暇活動の促進や研修旅行等の支援を行った。 ・運行委託事業者との契約期間（平成 29 年 5 月末）の終了を控え、貸切バス法等の厳格化により現契約での更新は困難となるため、新たな外出支援策を検討していくことが求められる。														

事業名	第20回みんなといっしょの運動会（障害者運動会）
事業形態	共催事業（東京日野ライオンズクラブ/日野市）
財源内訳	寄附金、赤い羽根共同募金配分金（地域）・受託金（日野市）
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	体の動かす機会の少ない障害者の健康増進・運動促進を図るとともに、市内障害者施設・事業所や地域住民・ボランティアとの交流を図る。
事業内容	1. 障害者運動会の開催
実績報告	開催日 10/2（日）10:00～15:00 会場 中央大学第一体育館アリーナ 参加者 626人 （競技参加者373人、ボランティア217人、来賓・役職員等36人） 主催 東京日野ライオンズクラブ、日野市、日野市社会福祉協議会 参加団体 赤組 東京光の家（新生園・栄光園・神愛園） おおぞら（つばさ・やまばと・はくちょう） あおいとり日野、里山耕房くらさわ、日野療護園 白組 夢ふうせん、すずかけの家、つきのおあしす W I N G、ハ王子東特別支援学校、一般参加者 協力団体 中央大学・明星大学・首都大学東京・学生ボランティア、 中央大学（応援団リーダー部・応援団ブラスコア一部・応援団チアリーディング部・学生会日野支部） 国際ソロプチミスト日野、日野市民生・児童委員協議会 日野市赤十字奉仕団、児童部会、ボランティア 日野市ボーイ・ガールスカウト連合協議会、 都立日野高校、エール、ひの手話サークル 日本車椅子バスケットボール連盟 結 果 赤組 1237点 白組 1489点
事業効果・評価方向性等	・新規団体や市民へ参加の呼びかけ、ボランティアの呼びかけを行い、総参加者が前年より約100人多かった。障害児施設2施設が新たに参加した。 ・日野・豊田・高幡不動駅から会場まで無料バスで送迎を行ったことが、参加者増に繋がったと考えられる。 ・初参加のボランティアも、それぞれの役割を楽しそうに活動しており、来年も参加したいという感想が多く聞かれた。 ・28年度は車いすバスケットのパラリンピアンを招聘した。児童から大人まで多くの参加者とパラリンピアンがミニゲーム体験で交流したことで、車いすバスケットが身近なものに感じられた。車いすバスケットを通じて障害者スポーツへの関心が高まった。

事業名	夏の親子レクリエーション	
事業形態	独自事業	
財源内訳	参加費、歳末たすけあい配分金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる	
目的	ひとり親家庭の親子の交流及び障害児世帯の余暇活動を支援。	
事業内容	1. 夏の親子レクリエーション（日帰りバス旅行）の開催	
実績報告	ひとり親家庭の親子の交流を深めること、障害児家庭の余暇支援を目的とした日帰り旅行（東京ディズニーランド）を実施した。	
		開催日 参加者（うち障害児世帯）
	28年度	7/30 37世帯 83人（5世帯19人）
	27年度	7/25 41世帯100人（8世帯23人）
事業効果・評価方向性等	・リピーターが多く、参加者の満足度が非常に高い事業である。 ・財源として歳末たすけあい募金を充てている。参加者に対し歳末たすけあい募金を活用した事業であることを周知する必要がある。 ・歳末たすけあい募金の理解を得ることが難しくなる中、この事業の実施方法について再検討していく必要がある。	

事業名	地域ネットワーク事業	
事業形態	独自事業	
財源内訳	会費、赤い羽根共同募金配分金（小地域）、歳末たすけあい配分金	
担当係	地域支援係	
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる	
目的	住民や様々な団体と連携・協働し、課題発見の仕組みづくりや多様なネットワークの構築、地域の主体的な地域福祉・交流活動が図られるよう支援する。	
事業内容	1. 地域担当の配置	
実績報告	・28年度は地域支援係の職員が5人になった。日野市の4つの生活圏域（ひの・とよだ・ひらやま・たかはた）に合わせて、各圏域ごと2人ずつの担当制は変わらないが、介護予防教室により力を入れられるようになった。	
	・昨年度同様、各担当地域の支援や、介護予防教室の実施のみならず、ハンディキャブの新規利用者の訪問面接、地域懇談会への参加、カエルキャラバン等の防災イベントや福祉体験講座等を行った。 ・南平地区社協への支援を行いながら、地域との関わりを深めることで、次の候補地の検討を継続した。	
事業効果・評価方向性等	・地域ごとの職員が、それぞれ細やかな動きをすることで、さらに地域と顔の見える関係が広がり、社会福祉協議会に対する認知も進んだ。 ・地区社協の基盤づくりも少しずつ進められた。	

事業内容	2. “みんなでつくる” ぷらっと協議会（地区社協）の運営支援																								
実績報告	東京都社会福祉協議会の「課題発見・解決志向型の地区社協設置・運営モデル事業（26 年、27 年度）」指定を受け、平成 28 年 3 月に南平地区社協(みんなでつくるぷらっと協議会南平)を設立した。また 6 月より南平ふれあいサロンが使用していないときに拠点として使えるようになった。																								
	初年度としてまずは会の安定的な運営と維持に努め、合わせて多くの市民の方に知って頂くために、①伝える(広報・啓発活動)、②つなぐ(ネットワーク化)、③続ける(継続と活性化)の 3 つを柱として推進し、特に今年度は「南平地区社会福祉協議会」の認知を高めるべく広報活動を中心に行い、70 回以上の参加、活動をした。																								
	1) 役員会 14 回																								
	2) 他団体への協力																								
	他団体が開催している会議、イベント等へ参加協力と広報活動をした。																								
	<table><tr><th>団体名</th><th>内容</th></tr><tr><td>高齢福祉課</td><td>認知症サポーター養成講座 気かけ運動説明会 ふれあいサロンスタッフ交流会</td></tr><tr><td>地域協働課</td><td>地域懇談会</td></tr><tr><td>七生中・日社協・自治会</td><td>七生中学校地域宿泊防災訓練</td></tr><tr><td>南平ふれあいサロン</td><td>日野警察署「振り込め詐欺」講演会 日野消防署「今地震が起きたら」講演会 地域包括支援センターすずらん「感染症」講演会</td></tr><tr><td>日野市社会福祉協議会</td><td>転倒予防体操 災害 VC 立ち上げ訓練 交流ひろばCafé 「ずっといっしょ」リレー上映会</td></tr><tr><td>ななお BON まつり 実行委員会</td><td>ななお BON まつり</td></tr><tr><td>ひの市民活動団体連絡会</td><td>まちづくり市民フェア</td></tr><tr><td>南平駅西交流センター</td><td>日野警察署・日野消防署の訓練 餅つき</td></tr><tr><td>自治会</td><td>南平 6 丁目応急救護訓練 南平 6・7・8 丁目合同防災訓練 南平向島防災訓練</td></tr><tr><td>南平小学校</td><td>南平小まつり 福祉体験講座 球根植え等</td></tr><tr><td>日野市商工会</td><td>日野まちづくりプラットホーム事業 (街歩きマップ)</td></tr></table>	団体名	内容	高齢福祉課	認知症サポーター養成講座 気かけ運動説明会 ふれあいサロンスタッフ交流会	地域協働課	地域懇談会	七生中・日社協・自治会	七生中学校地域宿泊防災訓練	南平ふれあいサロン	日野警察署「振り込め詐欺」講演会 日野消防署「今地震が起きたら」講演会 地域包括支援センターすずらん「感染症」講演会	日野市社会福祉協議会	転倒予防体操 災害 VC 立ち上げ訓練 交流ひろばCafé 「ずっといっしょ」リレー上映会	ななお BON まつり 実行委員会	ななお BON まつり	ひの市民活動団体連絡会	まちづくり市民フェア	南平駅西交流センター	日野警察署・日野消防署の訓練 餅つき	自治会	南平 6 丁目応急救護訓練 南平 6・7・8 丁目合同防災訓練 南平向島防災訓練	南平小学校	南平小まつり 福祉体験講座 球根植え等	日野市商工会	日野まちづくりプラットホーム事業 (街歩きマップ)
	団体名	内容																							
	高齢福祉課	認知症サポーター養成講座 気かけ運動説明会 ふれあいサロンスタッフ交流会																							
	地域協働課	地域懇談会																							
	七生中・日社協・自治会	七生中学校地域宿泊防災訓練																							
	南平ふれあいサロン	日野警察署「振り込め詐欺」講演会 日野消防署「今地震が起きたら」講演会 地域包括支援センターすずらん「感染症」講演会																							
	日野市社会福祉協議会	転倒予防体操 災害 VC 立ち上げ訓練 交流ひろばCafé 「ずっといっしょ」リレー上映会																							
	ななお BON まつり 実行委員会	ななお BON まつり																							
	ひの市民活動団体連絡会	まちづくり市民フェア																							
	南平駅西交流センター	日野警察署・日野消防署の訓練 餅つき																							
自治会	南平 6 丁目応急救護訓練 南平 6・7・8 丁目合同防災訓練 南平向島防災訓練																								
南平小学校	南平小まつり 福祉体験講座 球根植え等																								
日野市商工会	日野まちづくりプラットホーム事業 (街歩きマップ)																								

	3) 子供と高齢者等の交流事業 地域の高齢者・自治会・住民等に声をかけ、南平地区のつくしんぼ保育園との世代間交流（昔遊び・お手玉・紙芝居・おりがみ・音楽等）を支援。 11回開催 4) 関係団体との連携・協働 南平地区において関係団体と連携、協働し屋内清掃活動を実施。 日時 8/3（水） 場所 南平2丁目個人宅 協力者 地域包括支援センターすずらん、居宅介護支援事業所 高齢福祉課、社協、本人 5) 南平24自治会懇談会 自治会役員を対象に、地区社協の説明、自治会運営で日頃気になっている事等の意見交換をした。 日時 9/23（金） 場所 七生中学校食堂 参加者 30人
事業効果・評価 方向性等	・設立後1年経過したが、地域の様々なイベントや会議等に参加、出席しているので、徐々に「ぷらっと南平」の名前、存在を認知している人が増えつつある。 ・昨年度は広報活動をメインに活動する予定だが、今後は事業に協力して頂ける会員を増やし活動の裾野を拓けていく。 ・自治会懇談会のような主催事業を年数回開催、広げていく。 ・地域の中の課題等も検討し解決できるものは進めて行く。 ・空き家等を活用し、拠点の確保を模索する。

事業内容	3. 地域懇談会アクションプラン実行委員会との連携・協働																																				
実績報告	1) 地域懇談会 日野市地域協働課の主催の地域懇談会に出席し、地域の関係者の把握とネットワークづくりを図った。第2回目では、高齢福祉課と「のの健幸貯筋金体操」の紹介を行った。																																				
	<table><tr><th>地区</th><th>第1回</th><th>第2回</th><th>場所</th></tr><tr><td>日野第一中学校</td><td>7/23</td><td>2/19</td><td>生活保健センター</td></tr><tr><td>日野第二中学校</td><td>6/18</td><td>2/19</td><td>多摩平の森ふれあい館</td></tr><tr><td>日野第三中学校</td><td>7/23</td><td>2/25</td><td>七生福祉センター</td></tr><tr><td>日野第四中学校</td><td>6/25</td><td>1/28</td><td>日野第四中学校</td></tr><tr><td>平山中学校</td><td>6/18</td><td>2/4</td><td>平山小学校</td></tr><tr><td>七生中学校</td><td>7/16</td><td>2/4</td><td>七生中学校</td></tr><tr><td>大坂上中学校</td><td>7/16</td><td>1/28</td><td>新町交流センター</td></tr><tr><td>三沢中学校</td><td>6/25</td><td>2/25</td><td>三沢中学校</td></tr></table>	地区	第1回	第2回	場所	日野第一中学校	7/23	2/19	生活保健センター	日野第二中学校	6/18	2/19	多摩平の森ふれあい館	日野第三中学校	7/23	2/25	七生福祉センター	日野第四中学校	6/25	1/28	日野第四中学校	平山中学校	6/18	2/4	平山小学校	七生中学校	7/16	2/4	七生中学校	大坂上中学校	7/16	1/28	新町交流センター	三沢中学校	6/25	2/25	三沢中学校
	地区	第1回	第2回	場所																																	
	日野第一中学校	7/23	2/19	生活保健センター																																	
	日野第二中学校	6/18	2/19	多摩平の森ふれあい館																																	
	日野第三中学校	7/23	2/25	七生福祉センター																																	
	日野第四中学校	6/25	1/28	日野第四中学校																																	
	平山中学校	6/18	2/4	平山小学校																																	
	七生中学校	7/16	2/4	七生中学校																																	
	大坂上中学校	7/16	1/28	新町交流センター																																	
三沢中学校	6/25	2/25	三沢中学校																																		
2) 各地域アクションプラン実行委員会 地域懇談会終了後、各地区のアクションプラン実行委員会に継続的に出席し、各イベントにも参加した。																																					
<table><tr><th>地区</th><th>実行委員会（イベント実施日）</th></tr><tr><td>三沢中学校</td><td>「ちょこっと声かけ隊」（11/6, 13, 1/29） 5/24, 6/8, 7/14, 8/10, 1/17</td></tr><tr><td>七生中学校</td><td>「ななおBONまつり」（10/22） 4/12, 25, 5/17, 6/21, 7/12, 8/19, 9/13, 27, 10/11 10/26, 1/20</td></tr><tr><td>日野第三中学校</td><td>「簡単防災訓練」（8/18, 11/6, 13, 3/4） 4/19, 5/23, 6/22, 7/25, 9/28, 10/24, 12/22, 1/16 2/15, 3/22</td></tr><tr><td>日野第一中学校</td><td>「仲田の森で夏祭り」（8/27） 4/13, 6/1, 22, 7/20, 8/10, 24, 27, 11/4</td></tr><tr><td>平山中学校</td><td>「平山和の会（拡大地域懇談会）（3/25） 5/19, 7/28, 9/15, 11/15, 1/19</td></tr><tr><td>日野第二中学校</td><td>「二中Burunning」（10/20, 11/20） 4/14, 5/26, 29, 6/7, 11/8, 22, 12/12, 26, 1/5, 12 1/25, 31</td></tr><tr><td>大坂上中学校</td><td>「昔遊びと防災」（11/3-6） 4/12, 5/12, 6/9, 20, 10/20, 30, 1/25, 3/23</td></tr><tr><td>日野第四中学校</td><td>「ラジオ体操で地域がつながる」（8/28） 4/4, 5/10, 27, 6/6, 17, 7/7, 13, 8/2, 17, 9/24, 1/10</td></tr></table>	地区	実行委員会（イベント実施日）	三沢中学校	「ちょこっと声かけ隊」（11/6, 13, 1/29） 5/24, 6/8, 7/14, 8/10, 1/17	七生中学校	「ななおBONまつり」（10/22） 4/12, 25, 5/17, 6/21, 7/12, 8/19, 9/13, 27, 10/11 10/26, 1/20	日野第三中学校	「簡単防災訓練」（8/18, 11/6, 13, 3/4） 4/19, 5/23, 6/22, 7/25, 9/28, 10/24, 12/22, 1/16 2/15, 3/22	日野第一中学校	「仲田の森で夏祭り」（8/27） 4/13, 6/1, 22, 7/20, 8/10, 24, 27, 11/4	平山中学校	「平山和の会（拡大地域懇談会）（3/25） 5/19, 7/28, 9/15, 11/15, 1/19	日野第二中学校	「二中Burunning」（10/20, 11/20） 4/14, 5/26, 29, 6/7, 11/8, 22, 12/12, 26, 1/5, 12 1/25, 31	大坂上中学校	「昔遊びと防災」（11/3-6） 4/12, 5/12, 6/9, 20, 10/20, 30, 1/25, 3/23	日野第四中学校	「ラジオ体操で地域がつながる」（8/28） 4/4, 5/10, 27, 6/6, 17, 7/7, 13, 8/2, 17, 9/24, 1/10																			
地区	実行委員会（イベント実施日）																																				
三沢中学校	「ちょこっと声かけ隊」（11/6, 13, 1/29） 5/24, 6/8, 7/14, 8/10, 1/17																																				
七生中学校	「ななおBONまつり」（10/22） 4/12, 25, 5/17, 6/21, 7/12, 8/19, 9/13, 27, 10/11 10/26, 1/20																																				
日野第三中学校	「簡単防災訓練」（8/18, 11/6, 13, 3/4） 4/19, 5/23, 6/22, 7/25, 9/28, 10/24, 12/22, 1/16 2/15, 3/22																																				
日野第一中学校	「仲田の森で夏祭り」（8/27） 4/13, 6/1, 22, 7/20, 8/10, 24, 27, 11/4																																				
平山中学校	「平山和の会（拡大地域懇談会）（3/25） 5/19, 7/28, 9/15, 11/15, 1/19																																				
日野第二中学校	「二中Burunning」（10/20, 11/20） 4/14, 5/26, 29, 6/7, 11/8, 22, 12/12, 26, 1/5, 12 1/25, 31																																				
大坂上中学校	「昔遊びと防災」（11/3-6） 4/12, 5/12, 6/9, 20, 10/20, 30, 1/25, 3/23																																				
日野第四中学校	「ラジオ体操で地域がつながる」（8/28） 4/4, 5/10, 27, 6/6, 17, 7/7, 13, 8/2, 17, 9/24, 1/10																																				
事業効果・評価 方向性等	・担当地域の地域懇談会に参加することで、地域住民の中で活動している方たちと顔の見える関係ができています。また、情報収集もできました。 ・アクションプランの検討やイベント実施に関わることで、より地域との関係が深められた。今後は状況を見ながら、地区社協との関わりも含め、社協の役割や関わり方を探っていく必要がある。																																				

事業内容	4. 地域福祉活動団体への支援									
実績報告	1) 各地域活動への支援 ①日野本町サロン「縁がわ」 日野本町地域の2つの自治会、民生委員の方々等が世話人となり毎月2回開催。高齢者を中心とした多世代が集うサロン。 スタッフ打合せ会 5回 (4/26, 5/12, 9/13, 12/13, 3/14) ②あったかい手とて 都営多摩平四丁目アパート集会所で実施する学習会型サロン活動(毎月第1木曜日午後)に参加し、助言等を行った。28年度から、主催者・自治会・地域包括支援センターと協議の上、必要に応じて関わることにした。 8回 (4/7, 27, 6/2, 8/4, 9/1, 10/6, 1/5, 2/2) ③よりみちさくら UR多摩平の森さくら集会所で開催する常設型サロン。今年度から、スタッフ会議を地域ケア会議に併せて行うことにし、年4回にした。気かけ運動や、公団の生活支援アドバイザー、ひの筋体操等が、議題として取り上げられた。 ④泉会(泉塚自治会有志による、地域について考える定例会)やふれあいあじさいサロン(高幡市営住宅で開催されるサロン)、緑が丘自治会 談笑縁、二水会(第2武蔵野台地区センター)、サロン程久保等で、相談や情報提供等の支援を行っている。									
	2) 交流ひろばC a f é 高齢者、障害者、子育て中の親子、外国人、若者等を対象に、市民の居場所や交流の場づくりの活動をしている団体の情報交換の場を開催。									
	<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>7/29</td><td>情報交換</td><td>20団体 35人</td></tr><tr><td>3/3</td><td>サロン活動助成説明会 高齢福祉課より情報提供 (ひの筋体操について 実施含む) 情報交換</td><td>24団体 50人</td></tr></table>	開催日	内容	参加者	7/29	情報交換	20団体 35人	3/3	サロン活動助成説明会 高齢福祉課より情報提供 (ひの筋体操について 実施含む) 情報交換	24団体 50人
	開催日	内容	参加者							
7/29	情報交換	20団体 35人								
3/3	サロン活動助成説明会 高齢福祉課より情報提供 (ひの筋体操について 実施含む) 情報交換	24団体 50人								
※11/23 に行われた「あなたにとって居場所とは」という居場所づくりをしているあるいは興味がある人の集まりにも、参加を呼びかけた。										
事業効果・評価 方向性等	・サロンをやりたい、やってもらいたいという要望は、地域で増えており、支援の必要性も感じられる。金銭面だけでなく、情報や連携の橋渡しの役割も必要になっている。 ・交流ひろばC a f é は参加団体も多く、サロン活動を行っている団体の情報交換を必要としている状況がうかがえた。									

事業名	地域介護予防活動支援事業				
事業形態	受託事業（日野市）				
財源内訳	受託金				
担当係	地域支援係				
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる				
目的	高齢者が、自ら要介護・要支援状態になることの予防に努めることができる環境を整備し、地域住民や団体による自主的な介護予防活動を育成し、支援する活動を行う。				
事業内容	介護予防教室の開催				
実績報告	1) 実績 市内9カ所の地域包括支援センターのエリア毎に各約18回ずつ計163回実施した。				
	生活圏域	地域包括支援センター	開催日	回数	参加者
	ひの	せせらぎ	6/10, 7/8, 7/12, 8/12, 9/9, 10/8 10/14, 15, 11/11, 12/9, 1/13 2/10, 28, 3/10, 11, 15, 22, 29	18回	284人
		多摩川苑	6/13, 7/11, 8/8, 9/12, 10/17 11/14, 12/12, 1/16, 2/8, 13, 15 2/22, 3/13	13回	309人
	とよだ	あいりん	4/18, 28, 6/20, 23, 7/14, 15, 28 8/15, 9/8, 29, 10/17, 27, 11/10 12/19, 22, 1/12, 26, 2/2, 3/9, 23	20回	433人
		すてっぷ	4/20, 25, 5/13, 18, 23, 6/15, 27 7/20, 25, 9/21, 26, 10/19, 24 11/11, 16, 28, 12/21, 1/18, 23 2/10, 27, 3/15, 27	23回	730人
	ひらやま	すずらん	5/2, 6/6, 20, 7/4, 11, 8/1, 9/5 10/3, 19, 26, 11/7, 21, 28, 12/5 1/16, 2/6, 3/6	17回	348人
		いきいきタウン	5/30, 6/13, 22, 27, 7/8, 15, 8/5 8/24, 26, 9/23, 10/14, 11/18 12/9, 1/20, 23, 2/10, 3/10	17回	300人
		かわきた	5/18, 6/15, 7/20, 27, 8/17, 31 9/7, 21, 10/19, 11/16, 12/21 1/18, 25, 2/15, 22, 3/1, 15	17回	333人
	たかはた	あさかわ	6/21, 24, 7/6/13/27, 29, 8/26 9/7, 23, 10/4, 11, 28, 11/8, 25 12/16, 1/27, 2/1, 3/8, 22, 24, 31	22回	485人
		もぐさ	5/26, 7/7, 14, 21, 8/8, 25, 9/2 9/8, 9, 15, 16, 29, 11/24, 2/14 2/21, 23	16回	359人
	合計			163回	3,581人

	2) 他自治体の視察		
	開催日	視察先	内容
	7/8	八王子市	社会福祉協議会主催の介護予防教室の視察
	9/8	国立市	いきいき百歳体操の視察
	9/15	国分寺市	鬼石モデルの体操視察
	10/14	立川市	社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターが支援する体操教室のヒアリング
事業効果・評価 方向性等	・一般高齢者向けの介護予防教室を、日野市から受託し実施した。介護予防教室という形から、なるべく地域において住民主体で行うものに転換していく方向で検討していく。 ・各地域包括支援センターと相談し、各センターが作ってきた関係等を大切にしながら実施した。内容や会場については、地域包括支援センターが実施していたものを引き継ぎながら、転倒予防体操を主に、音楽やセルフリンパマッサージ、ヨガ等、様々な形で体を動かすものを工夫しながら実施した。 ・今後、社会福祉協議会が主催する介護予防教室は、全体の実施回数を減らしていくことになっている。来年度に向けては、「ひの健幸貯筋体操」を含めて、地域で市民が自分たちで継続して介護予防のための活動をしていけるよう支援していく。		

事業名	介護予防機能強化推進事業（生活支援コーディネーター）
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を受託し、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備の推進を図る。
事業内容	関係機関との連携・ネットワークの構築
実績報告	1) 一般高齢者向け介護予防教室を地域包括支援センターから引き継ぐ形で実施した。また、それ以外にも、介護予防の活動を行うための相談・支援を行った。介護予防教室の実施・支援 200回 2) 市内のサロンの状況確認・相談支援を行った。 ①サロンの見学・地域活動への支援 50回 ②地域のイベント・防災訓練・アクションプラン等への支援 105回 3) 市や各地域包括支援センター等の関係機関と意見交換を行った。 ①日野市高齢福祉課との打合せ 22回 日野市福祉政策課との打合せ 6回 日野市地域協働課との打合せ 1回 ②地域包括支援センターとの打合せ 17回 ③PT・OTとの連携 4回 ④他市への視察 4回 4) 他自治体との情報交換 3回（10/19, 11/13, 3/1）
事業効果・評価方向性等	・28年度、介護予防機能強化推進として、介護予防事業の展開を重視して活動した。今後、介護予防事業については市民による自主的な活動支援への切り替えを推進し、「Hi Know!」等の活用もしながら進めていく必要がある。 ・生活支援コーディネーターとしての役割についても、市の理解を求めつつ、徐々に、協議会や第2層のコーディネーターについてなど、検討を進めていきたい。

事業名	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務			
事業形態	受託事業（日野市）			
財源内訳	受託金			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる			
目的	日野市の情報のデイジー版を作成（録音・編集）し、視覚に障害のある方へ日常生活に必要な情報の提供を行う。			
事業内容	1. 朗読（デイジー）版「広報ひの」の作成（年24回）			
実績報告	日野市へ登録した市内の視覚障害者へ「広報ひの」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。 業務委託：朗読サークルひの			
	1) 業務実績			
	登録者数	登録	発行	作業内容
	29件			録音 24回
個人 24件	新規 2件	24回	編集 48回	
団体（1団体）5件	中止 0件		郵袋 24回	
事業内容	2. 朗読（デイジー）版「ひの市議会だより」の作成（年4回）			
実績報告	日野市へ登録した市内の視覚障害者へ「広報ひの」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。 業務委託：朗読サークルひの			
	1) 業務実績			
	登録者数	登録	発行	作業内容
	29件			録音 4回
個人 24件	新規 2件	4回	編集 4回	
団体（1団体）5件	中止 0件			
※郵袋は広報ひのとともに作業実施				
事業効果・評価方向性等	・視覚障害者への情報保障として、「広報ひの」および「市議会だより」の音訳版を作成した。			

在宅福祉事業

事業名	在宅高齢者ケアサービス事業				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	補助金、利用料、参加費				
担当係	在宅サービス係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	日常生活に支援が必要な市内在住の65歳以上の方に対し、家事援助等を中心とした会員制の市民参加型在宅サービスを実施することで、在宅生活を支援する。				
事業内容	1. 在宅高齢者への生活支援				
実績報告	1) 活動実績				
	①会員数およびサービス利用者・活動者数				
		利用会員		協力会員	
		会員数	利用者数 (月平均)	会員数	活動者数 (月平均)
	28年度	482人	170人	166人	80人
	27年度	506人	164人	186人	79人
	※月平均は小数点以下四捨五入。				
	②延べ利用時間と延べ利用件数				
		利用時間		利用件数	
	28年度	10,793時間		6,875件	
27年度	10,446時間		6,572件		
③サービス内容		家事援助	身の回りの世話	外出の付き添い	その他
	28年度	1,895件	259件	284件	272件
	27年度	1,679件	224件	236件	248件
	事業効果・評価 方向性等				
	・介護保険では支援対象外となる同居家族がいる高齢者の家事支援、通院時の付添等の活動依頼が増加している。 ・利用会員が訪問時に体調不良を訴えるケースが複数あったことから、緊急時の対応についての整備が必要となる。				
事業内容	2. 見守り体制の強化・連携				
実績報告	在宅福祉サービス系の日野ハンディキャブ事業、高齢者食事宅配サービス事業との利用者情報の統合を進めるため、利用者の個人情報使用の同意に関する手続きとそれを管理するデータベース管理システムの確認を開始した。				
事業効果・評価 方向性等	・29年度内に高齢者食事宅配サービス事業を在宅サービス係へ移管する予定となっている。現在の担当である総務係との調整を密にし、スムーズに移管できるよう努める。				

事業内容	3. 相談支援（訪問調査）および関係部署、関係機関との情報共有・連携
実績報告	日野市高齢者福祉総合計画において取り入れられた4つの日常生活圏域に合わせて、相談員（職員）の配置している。 ■ひの圏域 日野本町・神明・日野台1～3丁目・栄町・新町・万願寺・上田川辺堀之内・日野・宮・石田（浅川北）・石田1、2丁目 ■とよだ圏域 豊田・東豊田・多摩平・富士町・旭が丘2、5、6丁目、大坂上日野台4、5丁目 ■ひらやま圏域 南平・東平山・西平山・平山・旭が丘1、3、4丁目 ■たかはた圏域 高幡・新井・三沢・落川・程久保・百草・石田（浅川南）
事業効果・評価 方向性等	・要支援者及び家族同居の要介護者などの利用が増えてきていることから、ケアマネジャーや地域包括支援センター相談員との連携をさらに深めていく必要がある。

事業内容	4. 社会貢献型人材の確保・育成（フォローアップ）																				
実績報告	1) 広報紙「ひの社協だより」への掲載																				
	2) 会報誌「ねっとわーく」の発行 毎月1回会員向けに発行。各号約 650 部発行。																				
	3) 入会説明会																				
	<table><tr><th>開催日</th><th>参加者</th><th>開催日</th><th>参加者</th></tr><tr><td>6/26</td><td>6 人</td><td>7/5</td><td>0 人</td></tr><tr><td>11/28</td><td>3 人</td><td>11/29</td><td>2 人</td></tr><tr><td>12/8</td><td>0 人</td><td>3/9</td><td>1 人</td></tr><tr><td>3/13</td><td>2 人</td><td></td><td></td></tr></table>	開催日	参加者	開催日	参加者	6/26	6 人	7/5	0 人	11/28	3 人	11/29	2 人	12/8	0 人	3/9	1 人	3/13	2 人		
	開催日	参加者	開催日	参加者																	
	6/26	6 人	7/5	0 人																	
	11/28	3 人	11/29	2 人																	
	12/8	0 人	3/9	1 人																	
	3/13	2 人																			
	4) 協力会員研修会																				
<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>7/2</td><td>日野市介護人材育成事業 「寝たきりにしないさせないために！思いに寄り添う介護術」 講師：ケアプロデュースRX組 楽技介護塾紫野庵 代表 青山幸広 氏</td><td>3 人</td></tr><tr><td>9/10</td><td>日野市介護人材育成事業 「介護実技研修」 講師：ケアプロデュースRX組 楽技介護塾紫野庵 代表 青山幸広 氏</td><td>5 人</td></tr><tr><td>10/1</td><td>日野市介護人材育成事業 「介護実技研修」 講師：ケアプロデュースRX組 楽技介護塾紫野庵 代表 青山幸広 氏</td><td>5 人</td></tr><tr><td>10/27</td><td>日野市介護人材育成事業 「医学の基礎知識」 講師：あたご研究所 代表 後藤佳苗 氏</td><td>2 人</td></tr></table>	開催日	内容	参加者	7/2	日野市介護人材育成事業 「寝たきりにしないさせないために！思いに寄り添う介護術」 講師：ケアプロデュースRX組 楽技介護塾紫野庵 代表 青山幸広 氏	3 人	9/10	日野市介護人材育成事業 「介護実技研修」 講師：ケアプロデュースRX組 楽技介護塾紫野庵 代表 青山幸広 氏	5 人	10/1	日野市介護人材育成事業 「介護実技研修」 講師：ケアプロデュースRX組 楽技介護塾紫野庵 代表 青山幸広 氏	5 人	10/27	日野市介護人材育成事業 「医学の基礎知識」 講師：あたご研究所 代表 後藤佳苗 氏	2 人						
開催日	内容	参加者																			
7/2	日野市介護人材育成事業 「寝たきりにしないさせないために！思いに寄り添う介護術」 講師：ケアプロデュースRX組 楽技介護塾紫野庵 代表 青山幸広 氏	3 人																			
9/10	日野市介護人材育成事業 「介護実技研修」 講師：ケアプロデュースRX組 楽技介護塾紫野庵 代表 青山幸広 氏	5 人																			
10/1	日野市介護人材育成事業 「介護実技研修」 講師：ケアプロデュースRX組 楽技介護塾紫野庵 代表 青山幸広 氏	5 人																			
10/27	日野市介護人材育成事業 「医学の基礎知識」 講師：あたご研究所 代表 後藤佳苗 氏	2 人																			
5) 協力会員意見交換会																					
協力会員が抱える日ごろの活動に関する不安や迷い等を聞き出し、今後の活動につなげていくための意見交換会。																					
<table><tr><th>開催日</th><th>場 所</th><th>参加者</th></tr><tr><td>3/2</td><td>福祉支援センター</td><td>28 人</td></tr><tr><td>3/14</td><td>多摩平交流センター</td><td>21 人</td></tr></table>	開催日	場 所	参加者	3/2	福祉支援センター	28 人	3/14	多摩平交流センター	21 人												
開催日	場 所	参加者																			
3/2	福祉支援センター	28 人																			
3/14	多摩平交流センター	21 人																			
事業効果・評価 方向性等	・協力会員数の不足が課題となっている。会員募集の方法について見直し、検討を図っていく。 ・入会説明会の実施方法についての見直しを行い、新規協力会員の募集方法についてさらに検討していく。 ・専門的知識を必要とする利用会員が少しずつ増えてきていることから、介護人材育成研修を活用し、介護実技や医学知識等、家庭介護における基礎知識の研修を行うことが出来た。 ・協力会員を対象とした意見交換会を実施したことで協力会員同士、横のつながりをつくるきっかけとなり、日ごろの活動に対する不安や迷いに対するフォローができた。																				

事業内容	5. 会員の声を事業に生かすための交流の場作り																														
実績報告	1) おしゃべりサロン 地域の散策や様々な会場を利用し、利用・協力会員双方が参加する、意見交換の場を設定。																														
	<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>4/20</td><td>クラブ活動について</td><td>10人</td></tr><tr><td>5/27</td><td>将棋クラブ・英会話クラブ</td><td>11人</td></tr><tr><td>6/24</td><td>あじさいまつり</td><td>6人</td></tr><tr><td>7/29</td><td>振り込め詐欺の実際</td><td>17人</td></tr><tr><td>9/23</td><td>お食事会</td><td>7人</td></tr><tr><td>10/28</td><td>アクリルたわし作り</td><td>7人</td></tr><tr><td>12/16</td><td>クリスマスお楽しみ会</td><td>16人</td></tr><tr><td>2/17</td><td>茶話会</td><td>11人</td></tr><tr><td>3/24</td><td>私にできる詐欺防止法</td><td>13人</td></tr></table>	開催日	内容	参加者	4/20	クラブ活動について	10人	5/27	将棋クラブ・英会話クラブ	11人	6/24	あじさいまつり	6人	7/29	振り込め詐欺の実際	17人	9/23	お食事会	7人	10/28	アクリルたわし作り	7人	12/16	クリスマスお楽しみ会	16人	2/17	茶話会	11人	3/24	私にできる詐欺防止法	13人
	開催日	内容	参加者																												
	4/20	クラブ活動について	10人																												
	5/27	将棋クラブ・英会話クラブ	11人																												
	6/24	あじさいまつり	6人																												
	7/29	振り込め詐欺の実際	17人																												
	9/23	お食事会	7人																												
	10/28	アクリルたわし作り	7人																												
	12/16	クリスマスお楽しみ会	16人																												
2/17	茶話会	11人																													
3/24	私にできる詐欺防止法	13人																													
2) はつらつ体操 毎月1回、楽しく気軽に介護予防になる体操教室（利用・協力会員向け）を開催。 講師：木村明美 氏（介護予防指導士）																															
<table><tr><th>開催日</th><th>出席者</th><th>開催日</th><th>出席者</th><th>開催日</th><th>出席者</th></tr><tr><td>4/20</td><td>20人</td><td>5/27</td><td>20人</td><td>6/24</td><td>19人</td></tr><tr><td>7/29</td><td>22人</td><td>8/16</td><td>15人</td><td>9/23</td><td>18人</td></tr><tr><td>10/28</td><td>16人</td><td>11/25</td><td>15人</td><td>12/16</td><td>16人</td></tr><tr><td>1/27</td><td>13人</td><td>2/17</td><td>18人</td><td>3/24</td><td>22人</td></tr></table>	開催日	出席者	開催日	出席者	開催日	出席者	4/20	20人	5/27	20人	6/24	19人	7/29	22人	8/16	15人	9/23	18人	10/28	16人	11/25	15人	12/16	16人	1/27	13人	2/17	18人	3/24	22人	
開催日	出席者	開催日	出席者	開催日	出席者																										
4/20	20人	5/27	20人	6/24	19人																										
7/29	22人	8/16	15人	9/23	18人																										
10/28	16人	11/25	15人	12/16	16人																										
1/27	13人	2/17	18人	3/24	22人																										
3) 会員交流会 ケアサービス利用・協力会員相互の交流事業の開催。																															
<table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>参加者</th></tr><tr><td>11/8</td><td>小田原城菊花展と相模湾展望ランチの旅</td><td>33人</td></tr><tr><td>2/1</td><td>ふれあい号で行く！ちょっぴり贅沢な一日</td><td>27人</td></tr></table>	開催日	内容	参加者	11/8	小田原城菊花展と相模湾展望ランチの旅	33人	2/1	ふれあい号で行く！ちょっぴり贅沢な一日	27人																						
開催日	内容	参加者																													
11/8	小田原城菊花展と相模湾展望ランチの旅	33人																													
2/1	ふれあい号で行く！ちょっぴり贅沢な一日	27人																													
事業効果・評価 方向性等	・会員の意見から新たに3つのクラブ活動を発足し、順調に活動が継続されている。 ・おしゃべりサロンやバスハイクなど、興味を持っていただける内容を今後も検討し、高齢者が外に出ていくきっかけを作っていきたい。																														

事業名	移送サービス（日野ハンディキャブ）事業					
事業形態	補助事業（日野市）					
財源内訳	補助金、利用料					
担当係	地域支援係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	公共交通機関での移動が困難な市内在住・在宅の高齢者や障害者が気軽に外出できるよう、福祉車両を使い外出支援を行う。					
事業内容	1. 在宅高齢者や障害者の外出支援					
実績報告	日野市有償福祉運送運営協議会の協議を経て、国土交通省関東運輸局東京運輸支局に登録し、有償旅客運送を実施。車椅子利用者対応リフト付きワゴン車（福祉車両）で、市内在住の移動困難となった高齢者や障害者を、運転ボランティアが自宅から目的地まで搬送。					
	要件を満たす登録者（市民税非課税で要介護3・4・5または下肢か体幹機能障害の障害者手帳1級か2級所持）が利用した場合、利用料金の一部を日野市が補助。					
	1) 実績					
		車両	運転ボランティア	利用登録者	利用件数	走行距離
	28年度	8台	17人	348人	2,636件	25,614km
27年度	8台	19人	289人	2,915件	29,225km	
事業効果・評価方向性等	・移動困難者に対して有効な事業であり、市内でも最大規模で運行し利用者や福祉関係者から支持を得ている。 ・事業に携わる事務量が多く、効率化や改善を図っていく。 ・利用件数、走行距離が減少しているので、日社協だより等であらためて広報周知を進める。					
事業内容	2. 相談支援					
実績報告	日野市高齢者福祉総合計画において取り入れられた4つの日常生活圏域に合わせて職員を配置し、当該地区の担当者が訪問し事業の説明					
	・申請受付をしている。 また訪問時、当事業以外の事案についても相談、他の事業の紹介等も行っている。					
事業効果・評価方向性等	・当事業が利用できる方には担当ケアマネージャー等の支援者がいるが、支援者の知らないインフォーマルサービス等の情報提供をしていく。					

事業内容	3. 安全管理（運転協力者への講習義務付け）			
実績報告	1) 福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習 新規に加入した運転ボランティアが、東京ハンディキャブ協会の主催する講習会に参加。			
	開催日	場所		参加者
	8/6-7	中央福祉センター		4人
	2) 患者等搬送乗務員講習・再講習 運転ボランティアが利用者の状態の理解と緊急時の適切な対応ができるよう、東京防災救急協会が主催する講習会に参加した。			
	開催日	内容	場所	参加者
	5/6	再講習	麴町消防署	1人
	7/1	再講習		2人
	7/8-9	新規講習		1人
	10/25	再講習		1人
	12/9	再講習		1人
1/12-13	新規講習	1人		
2/23-24	新規講習	1人		
3) 安全運転者講習会 日野警察署から署員を講師として招き実施した。 開催日 3/6（月）				
事業効果・評価 方向性等	・平日に毎日運行があり、事故に関しては細心の注意が必要である。 講習はドライバー自身の振り返りも含め、継続していく必要がある。			
事業内容	4. 関係機関との情報共有・連携強化			
実績報告	1) 日野市有償福祉運送運営協議会 道路運送法による登録の更新を行うため、市が主催し地域の関係者がその運送の必要性を協議する会議に出席。国土交通省関東運輸局東京運輸支局に更新申請をし、平成29年3月より3年間更新した。 開催日 11/22（火） 場 所 日野市役所 504 会議室			
	・年に一度の運営協議会なので、情報共有や連携が難しい。 ・行政側も運営協議会は福祉政策課、補助金請求は高齢福祉課と分担されているため情報共有や連携が難しい。利用者支援には行政との連携は必要不可欠であるため、どのような連携が図れるのか検討する。			
事業効果・評価 方向性等				

事業名	高齢者食事宅配サービス事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金、歳末たすけあい募金配分金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	地域で孤立しがちな在宅高齢者に、栄養管理のされた昼食を提供することにより、食の確保や健康状態の把握に努める。 弁当配達時に安否確認を行い、孤立化の未然防止・緊急時の早期発見・自立生活の支援を行う。		
事業内容	1. 在宅高齢者への食の確保ならびに栄養改善		
実績報告	1) 配食業務委託事業者 6事業所 ①(社福) マザアス ④(株)ベルハート・エール ②(社福) 隆山會 ⑤(有)四季会席葵 ③(社福) 夢ふうせん ⑥NPO 法人 福祉カフェテリア *⑤(有)四季会席葵は、配食事業廃止により本年度末で契約終了。		
	2) 実績		
		利用者数	配食数 内訳
	28年度	3,318人	54,731食 ①18,535食②7,819食③ 5,113食 ④ 1,897食⑤8,574食⑥12,793食
	27年度	3,165人	52,139食 ①17,874食②7,340食③ 5,177食 ④ 2,351食⑤8,934食⑥10,463食
3) 新規申込者数			
	件数	内訳	
28年度	117件	ひとり暮らし： 65件 高齢者世帯： 45件 日中ひとり ： 6件 その他 ： 1件	
27年度	83件	ひとり暮らし： 41件 高齢者世帯： 33件 日中ひとり ： 6件 その他 ： 3件	
4) 日野市高齢福祉課との検討会（8/23） 介護保険制度改正を控え、本事業における介護予防・日常生活支援総合事業との関連等の検討を高齡福祉課と行った。			
事業内容	2. 安全管理		
実績報告	1) 事業所見学 配食委託事業所の仕様遵守状況確認、調理行程・食事内容等について担当者から説明を受けた。		
	実施日	見学先	
	8/5	福祉カフェテリア・マザアス・豊かな里	
	8/12	四季会席葵、ベルハート・エール、夢ふうせん	
2) 利用者アンケート実施 実施期間 3/6～3/31 回 答 数 160人			

事業効果・評価 方向性等	・家族や支援者からの利用希望が多く、在宅で暮らす高齢者の食の確保ならびに安否確認（見守り）として、高齢者本人はもとより家族・支援者からの要望は多い。 ・利用者管理台帳のデータベース改修、試験的運用を行っている。 ・衛生管理・調理作業の確認のため、事業所を訪問し聞き取りを行った。 ・配食業務委託事業者の一つである(有)四季会席葵が本年度末をもって契約終了となった。同事業者の利用者は、3月中に他の5事業者へ移行手続きを完了した。 ・1事業者（有)四季会席葵）の撤退に伴い、日野市高齢福祉課とサービスや業務内容の適正を勘案し、新たな配食事業者の必要性の有無を検討することが求められる。
-----------------	---

事業名	車椅子貸出事業						
事業形態	独自事業						
財源内訳	利用料						
担当係	総務係						
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる						
目的	高齢、障害、怪我等で歩行が困難な方に短期間の車椅子の貸出を行う。						
事業内容	1. 利用状況の把握、在庫管理						
実績報告	1) 市内在住の高齢者や障害者、傷病等による歩行困難者を対象に、一時的に車椅子を貸出。 <table border="1"> <tr> <td></td><td>貸出件数</td></tr> <tr> <td>28年度</td><td>182件</td></tr> <tr> <td>27年度</td><td>168件</td></tr> </table> 2) 3ヵ月を超える長期貸出者に対し、返却や借り換えを促した。 3) 経年劣化により使用ができなくなった車椅子を3台廃棄した。		貸出件数	28年度	182件	27年度	168件
	貸出件数						
28年度	182件						
27年度	168件						
事業効果・評価 方向性等	・分かりやすい貸出方法、料金によって、市民や支援者に広くサービスが浸透している。引き続きサービスを提供していく。 ・複数年に亘る長期貸出者に対する返却依頼方法を検討する。						

事業名	コミュニケーション支援事業				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	補助金				
担当係	地域支援係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	聴覚障害者の情報保障やコミュニケーションの円滑化を図り、社会参加の機会向上のため、手話通訳者を派遣する。 聴覚障害者が地域で安心して暮らせるよう相談を受け、関係機関と連携して支援する。				
事業内容	1. 利用者支援				
実績報告	1) 利用登録者				
		登録者数（うち新規契約者数）			
	28年度	66人（7人）			
	27年度	73人（7人）			
	* 27年度以前に転居等の14人は28年度登録者数に含めず				
	2) 手話通訳者				
	登録者数				
28年度	16人				
27年度	14人				
事業効果・評価方向性等	・28年度から、日野市役所内に毎日手話通訳者が配置されている。窓口に来所された利用者に対し、情報保障の面から日野市役所を案内している。今後も周知を図っていく。				
事業内容	2. 手話通訳者の派遣・調整				
実績報告	聴覚障害者に対して手話通訳者・要約筆記者を派遣し、当該聴覚障害者の日常生活を支援。				
	1) 実績（ ）内は東京手話通訳等派遣センター数				
		利用者数	利用件数	通訳者数	派遣回数
	28年度	39人	312件（160件）	16人	239回（221回）
	27年度	33人	241件（98件）	14人	320回（122回）
事業効果・評価方向性等	・東京手話通訳等派遣センターへの依頼が増加した。要因として、平日の日中時間に活動できる日野市登録手話通訳者数の少ないことが考えられる。利用者のニーズを充足するため、平日の日中時間に活動できる日野市登録手話通訳者を増やす工夫が必要である。				

事業内容	3. 登録手話通訳者の資質向上																				
実績報告	今年度新たに日野市登録手話通訳者として契約した者に対して、日野市聴覚障害者協会等の協力を得て、研修及び実習を行った。 1) 研修 <table border="1" data-bbox="435 286 1238 568"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/12</td><td>オリエンテーション、講義、聞き取り演習</td></tr> <tr> <td>5/21</td><td>読み取り演習</td></tr> <tr> <td>6/2</td><td>模擬通訳演習</td></tr> <tr> <td>6/18</td><td>講義、聞き取り演習</td></tr> <tr> <td>8/13</td><td>実習反省会、まとめ</td></tr> </tbody> </table> 2) 実習 <table border="1" data-bbox="435 624 1238 813"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/12</td><td>みんなの遊・友ランド</td></tr> <tr> <td>7/9</td><td>夏のボランティア体験学習 説明会</td></tr> <tr> <td>7/16</td><td>日野市民でつくる防災・減災シンポジウム</td></tr> </tbody> </table>	開催日	内容	5/12	オリエンテーション、講義、聞き取り演習	5/21	読み取り演習	6/2	模擬通訳演習	6/18	講義、聞き取り演習	8/13	実習反省会、まとめ	開催日	内容	6/12	みんなの遊・友ランド	7/9	夏のボランティア体験学習 説明会	7/16	日野市民でつくる防災・減災シンポジウム
開催日	内容																				
5/12	オリエンテーション、講義、聞き取り演習																				
5/21	読み取り演習																				
6/2	模擬通訳演習																				
6/18	講義、聞き取り演習																				
8/13	実習反省会、まとめ																				
開催日	内容																				
6/12	みんなの遊・友ランド																				
7/9	夏のボランティア体験学習 説明会																				
7/16	日野市民でつくる防災・減災シンポジウム																				
事業効果・評価 方向性等	・平成 28 年 4 月より障害者差別解消法が施行され、手話通訳者の必要性が高まっている。経験の浅い手話通訳者に対し手厚いフォローアップを行い、育成していくことは急務である。今後も継続して研修や実習を行っていく。																				

ボランティア活動推進事業

事業名	日野市ボランティア・センター																				
事業形態	独自事業																				
財源内訳	参加費、手数料、寄附金、歳末たすけあい募金配分金、繰入金																				
担当係	ボランティア係																				
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる																				
目的	地域でボランティアを必要とする人と、地域に貢献したい人をつなげる役割を果たす。 多様な情報ネットワークを活用したボランティア情報の収集・発信を行う。																				
事業内容	1. ボランティア相談・コーディネート																				
実績報告	1) ボランティア企画調整部会 ボランティア窓口相談員から企画調整部会員として3人選出し、ボランティアセンター運営のための企画調整会議を毎月開催																				
	2) ボランティアセンター窓口相談 10時から15時の時間帯に「ボランティア窓口相談員（3人）」を配置し、市民参加によるボランティアに関する相談・調整を実施。																				
	①ボランティア登録者・活動者数																				
	<table><tr><td></td><td colspan="2">個人</td><td colspan="2">団体</td></tr><tr><td></td><td>登録者</td><td>活動者</td><td>登録団体</td><td>活動団体</td></tr><tr><td>28年度</td><td>371人</td><td>延べ351人</td><td>59団体</td><td>延べ69団体</td></tr><tr><td>27年度</td><td>308人</td><td>延べ327人</td><td>58団体</td><td>延べ70団体</td></tr></table>		個人		団体			登録者	活動者	登録団体	活動団体	28年度	371人	延べ351人	59団体	延べ69団体	27年度	308人	延べ327人	58団体	延べ70団体
		個人		団体																	
		登録者	活動者	登録団体	活動団体																
	28年度	371人	延べ351人	59団体	延べ69団体																
	27年度	308人	延べ327人	58団体	延べ70団体																
	※活動者に昨年度から継続的に活動している人数は含まない。																				
	②コーディネート結果																				
<table><tr><td></td><td>ニード受付</td><td>成立</td></tr><tr><td>28年度</td><td>276件</td><td>225件</td></tr><tr><td>27年度</td><td>254件</td><td>222件</td></tr></table>		ニード受付	成立	28年度	276件	225件	27年度	254件	222件												
	ニード受付	成立																			
28年度	276件	225件																			
27年度	254件	222件																			
※活動者に昨年度から継続的に活動している人数は含まない。																					
③相談員連絡会																					
ボランティアセンターの事業検討、コーディネート状況の情報共有のため、連絡会を毎月開催																					
3) ボランティアセンター相談受付システムの導入 ボランティアコーディネートを効率的・効果的に行うための相談システムの導入をし運用した。																					

事業効果・評価 方向性等	・28年度は、ボランティア登録者、団体共に大幅に増加した。背景には、ボランティア登録者の更新手続きを簡素化したことにより、登録解除者が減ったことが考えられる。															
事業内容	2. 夏の体験ボランティア 2016															
実績報告	小学生以上の学生および一般の方を対象とした、夏休み期間中のボランティア体験学習を実施。															
	1) 実績															
	<table><tr><td></td><td>期間</td><td>延べ日数</td><td>活動先</td><td>参加者</td></tr><tr><td>28年度</td><td>7/20-8/31</td><td>677日</td><td>68施設・団体</td><td>353人</td></tr><tr><td>27年度</td><td>7/20-8/31</td><td>499日</td><td>53施設・団体</td><td>213人</td></tr></table>		期間	延べ日数	活動先	参加者	28年度	7/20-8/31	677日	68施設・団体	353人	27年度	7/20-8/31	499日	53施設・団体	213人
		期間	延べ日数	活動先	参加者											
	28年度	7/20-8/31	677日	68施設・団体	353人											
	27年度	7/20-8/31	499日	53施設・団体	213人											
	2) 説明会															
	<table><tr><td>開催日</td><td>場所</td><td>施設</td><td>参加者</td><td>ボランティア</td></tr><tr><td>7/9</td><td>日野第一中学校 食堂</td><td>60</td><td>172人</td><td>7人</td></tr></table>	開催日	場所	施設	参加者	ボランティア	7/9	日野第一中学校 食堂	60	172人	7人					
	開催日	場所	施設	参加者	ボランティア											
	7/9	日野第一中学校 食堂	60	172人	7人											
3) 日野市ボランティア・センター企画プログラム																
<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>参加者</td></tr><tr><td>7/29 8/5.19</td><td>子どもマジック☆ボランティア 講師 日野マジッククラブ</td><td>6人</td></tr><tr><td>8/25.26</td><td>点字の絵本をつくってみよう！ 講師 西田 梓 氏</td><td>16人</td></tr><tr><td>8/28</td><td>遊んで学べる♪レクボラ講座 講師 日野市社会福祉協議会 児童部会</td><td>15人</td></tr></table>	開催日	内容	参加者	7/29 8/5.19	子どもマジック☆ボランティア 講師 日野マジッククラブ	6人	8/25.26	点字の絵本をつくってみよう！ 講師 西田 梓 氏	16人	8/28	遊んで学べる♪レクボラ講座 講師 日野市社会福祉協議会 児童部会	15人				
開催日	内容	参加者														
7/29 8/5.19	子どもマジック☆ボランティア 講師 日野マジッククラブ	6人														
8/25.26	点字の絵本をつくってみよう！ 講師 西田 梓 氏	16人														
8/28	遊んで学べる♪レクボラ講座 講師 日野市社会福祉協議会 児童部会	15人														
4) 地域団体での夏ボラ説明会																
<table><tr><td>開催日</td><td>場所</td><td>参加者</td></tr><tr><td>6/15</td><td>日野台高校</td><td>330人</td></tr><tr><td>7/1</td><td>日野第三中学校</td><td>15人</td></tr></table>	開催日	場所	参加者	6/15	日野台高校	330人	7/1	日野第三中学校	15人							
開催日	場所	参加者														
6/15	日野台高校	330人														
7/1	日野第三中学校	15人														
事業効果・評価 方向性等	・夏の体験ボランティア 2016 の参加者は、昨年と比較して大幅に増加した。その理由として、都立日野台高等学校一学年の生徒が「人間と社会」の授業の一環として、100人以上参加したことが挙げられる。															

事業内容	3. 傾聴ボランティアリっすん		
実績報告	1) 情報交換会 6回開催（奇数月第3木曜日） 傾聴の活動の情報交換を目的に、情報交換会を実施。		
	開催日	内容	
	5/19	熊本地震で被災した障害のある人の困りごと	
	7/21	社会福祉協議会 地域支援係の役割について 講師：日野市社会福祉協議会 地域支援係 係長 多賀聡子	
	9/15	依存症患者への接し方について	
	11/17	依存症のグループ傾聴について	
	1/19	依存症の理解について 講師：武蔵野ダルク 渡辺智子 氏	
	3/16	情報交換	
	2) 傾聴ボランティア入門講座 「聴く（傾聴）」の意味、大切さを理解し、実践していくボランティア講座を行った。		
	開催日	内容	参加者
1/20.27 2/3	NPO法人P.L.Aによる講習	20人	
2/10	・地域包括支援センターせせらぎ職員による 認知症サポーター研修 ・若年性認知症の会芽吹きの会による講演		
2/17	施設見学 ①多摩あんしん館 ②小規模多機能ホームさかえまち ③豊かな里		
事業効果・評価 方向性等	・多種多様な想いや言葉に耳を傾け、心のケアを図る傾聴ボランティアへのニーズは高く、現在、市内福祉施設入所者や一人暮らしの高齢者に寄り添い活動を行っている。今後も継続し養成講座を開催していく。		

事業内容	4. 大学との連携強化			
実績報告	1) 学生活動パネル展示in市役所実施支援			
	開催日	内容		
	4/11 -4/18	明星大学、実践女子大学、東京薬科大学、法政大学、中央大学首都大学東京による学生のボランティア活動のパネル展示		
	2) 日野多摩大学・協働チームとの連携会議			
	開催日	内容	参加者	
	5/9	大学・日野市・社協との情報交換	明星大学、中央大学 首都大学東京 実践女子大学 法政大学、八王子VC 地域協働課、文化スポーツ課、日野市VC	
	12/19	イオンイベント2017に向け、各大学の情報交換	明星大学、中央大学 首都大学東京 実践女子大学 法政大学、八王子VC 地域協働課、日野市VC	
	3) 中央大学・明星大学ボランティアセンター クリーン作戦2016への参加			
	開催日	内容	場所	
	5/21	中央大学と明星大学の学生ボランティアが協同で大学周辺の清掃活動を行うと共に、学生同士の交流を図った	中央大学・明星大学周辺	
	4) 中央大学での講義			
	開催日	内容	参加者	
	5/23	公務員になりたい人のためのボランティア講座	59人	
	5) 地域発見！公務員と巡る五感で感じるバスツアー（中央大学）企画運営協力			
	開催日	内容	場所	参加者
	5/29	地域課題とその解決策を実践されている地域リーダーのお話を聞く（1回目）	ユギ里山ファーム やまぼうし せせらぎ農園	22人
	6/26	地域課題とその解決策を実践されている地域リーダーのお話を聞く（2回目）	落川交流センター 七ツ塚ファームズセンター	21人
10/19	地域プレゼンテーション（まちづくり市民フェア2016内）	日野市市民の森 ふれあいホール	60人	
12/20	地域プレゼンテーション まとめの会	中央大学	19人	
6) 明星大学きらきらボランティアセンター きらぼまつり参加 開催日 6/4				

- 7) 中央大学ボランティアセンター 南平高校 HUG体験の支援
南平高校1年生の「人間と社会」の授業においてHUG（避難所運営ゲーム）を各クラスで実施するにあたり、中央大学ボランティアセンター職員と共に支援を行った。

開催日	内容
7/6	教員事前レクチャー
7/8	生徒向け事前レクチャー
7/12	HUGの実施支援（1回目）
12/19	HUGの実施支援（2回目）

- 8) 明星大学きらきらボランティアセンター ぼらチャレンジ28審査員

開催日	内容
7/8	明星大学の学生が社会貢献につながるボランティア活動を表彰するための審査を行った。

- 9) 明星大学 天野ゼミ ゲストスピーカー

開催日	内容
7/26	子どもの貧困課題について

- 10) 明星大学 シンポジウム「大学生だからこそできる学生ボランティアの魅力と未来地図」パネラー出演

開催日 10/8

- 11) 中央大学 チーム防災×職員 合同防災研修 企画協力・参加

開催日	内容
12/16	中央大学内の防災企画 クロスロード
1/13	HUG

- 12) 明星大学きらきらボランティアセンター ぼらチャレンジ28報告会と明星大学ボランティア感謝のつどい

開催日	内容
1/27	ぼらチャレンジ28報告会 明星大学ボランティア感謝のつどい

- 13) 第3回大学生ボランティア活動展&イベント2017
～被災地と多摩地域のかけはし～企画運営協力

開催日	内容	場所	参加者
2/8-12	明星大学、実践女子大学 東京薬科大学、法政大学 中央大学、首都大学東京 日野市立全中学校有志による被災地に学ぶ生きる カプロジェクトによる学生の ボランティア活動パル展示 防災イベント 活動発表（市内中学生被災地プロジェクト） ※日野一中ボランティア部協力	イオンモール 多摩平の森	パル展示 1,100人 防災イベント 400人 スタッフ延べ 150人

	14) 首都大学東京ボランティアセンター設立1周年記念シンポジウム パネラー出演 開催日 3/4																
事業効果・評価 方向性等	・28年度より始まった、中央大学ボランティアセンター主催の「地域発見！公務員と巡る五感で感じるバスツアー」では、公務員を目指す学生に対して、日野市内の市民活動団体を見学し、関心のある団体にボランティア活動をする機会をつくった。活動を通して見えてくる社会課題、そして人とのつながりの大切さに学ぶ場となった。 ・都立南平高校1年生を対象とした「人間と社会」の授業において実施したHUGに関して、28年度は企画運営についても相談を受け、南平高校教員等との連携強化につながった。																
事業内容	5. 他団体との連携強化																
実績報告	1) 平山台工業連絡会（七日会）研修																
	<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>場所</td><td>参加者</td></tr><tr><td>4/22</td><td>日野市障害者施設の見学・食事・商品購入ボランティア研修</td><td>認定NPO法人やまぼうし 社福) 夢ふうせん 社福) 東京光の家</td><td>七日会 21人 日野市 4人 社協 2人</td></tr></table>	開催日	内容	場所	参加者	4/22	日野市障害者施設の見学・食事・商品購入ボランティア研修	認定NPO法人やまぼうし 社福) 夢ふうせん 社福) 東京光の家	七日会 21人 日野市 4人 社協 2人								
	開催日	内容	場所	参加者													
	4/22	日野市障害者施設の見学・食事・商品購入ボランティア研修	認定NPO法人やまぼうし 社福) 夢ふうせん 社福) 東京光の家	七日会 21人 日野市 4人 社協 2人													
	2) マザアス日野 開設17周年記念式典の出席																
	<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td></tr><tr><td>5/1</td><td>マザアスで活動しているボランティアへ感謝を伝える行事</td></tr></table>	開催日	内容	5/1	マザアスで活動しているボランティアへ感謝を伝える行事												
	開催日	内容															
	5/1	マザアスで活動しているボランティアへ感謝を伝える行事															
	3) ご近所会議 公民館、ひの児童館、日野市ボランティア・センターとの連携会議																
	<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>場所</td></tr><tr><td>1/18</td><td>協働事業について</td><td>公民館</td></tr></table>	開催日	内容	場所	1/18	協働事業について	公民館										
	開催日	内容	場所														
	1/18	協働事業について	公民館														
	4) 「みんなの遊・友ランド」を通して障害児支援関係者との連携づくり																
	<table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>場所</td><td>参加者</td></tr><tr><td>5/31</td><td>ボランティア事前説明会 講師：七生特別支援学校 八王子東特別支援学校</td><td>明星大学</td><td>45人</td></tr><tr><td>6/12</td><td>みんなの遊・友ランド</td><td>日野市市民の森ふれあいホール</td><td>参加者 244人 ボランティア 185人</td></tr><tr><td>6/17</td><td>ボランティア交流会</td><td>明星大学</td><td>15人</td></tr></table>	開催日	内容	場所	参加者	5/31	ボランティア事前説明会 講師：七生特別支援学校 八王子東特別支援学校	明星大学	45人	6/12	みんなの遊・友ランド	日野市市民の森ふれあいホール	参加者 244人 ボランティア 185人	6/17	ボランティア交流会	明星大学	15人
	開催日	内容	場所	参加者													
	5/31	ボランティア事前説明会 講師：七生特別支援学校 八王子東特別支援学校	明星大学	45人													
	6/12	みんなの遊・友ランド	日野市市民の森ふれあいホール	参加者 244人 ボランティア 185人													
6/17	ボランティア交流会	明星大学	15人														
5) NPO法人フードバンクTAMAとの連携協定締結 子どもの貧困の解決に向けて、NPO法人フードバンクTAMAと連携協定の締結をした。 締結日 1/19																	
6) 日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト実行委員会																	
①会議 毎月開催																	

	②キョテン 107 運営 地域活性の企画や人と人を繋ぐ役割を持つ地域の拠点として、毎日 日替わりで担当者（ボランティア）が運営している。 ③チャネルマーケットの開催 毎月開催 日野駅前広場で市内の店舗が出店することにより、楽しみながら市 内の飲食店の紹介をするイベントを開催。 7) 市民活動団体連絡会との連携 ①まちづくり市民フェア2016 実行委員として企画・運営を行った。			
	開催日	内容	場所	参加者
	10/16	ブース展示 活動紹介・相談 カエルキャラバン (明星大学・中央大学ボランティ アセンター共同開催) 実行委員会企画 映画「さとにきたらええやん」	日 野 市 市 民 の 森 ふ れ あ い ホ ール	全体来場者 約1,800人 (ボランティ アセンターブ ース参加者 約200人) 映画144人
	②市民活動勉強会「あなたにとって居場所とは？」の開催 (まちづくり市民フェア実行委員×地域支援係)			
	開催日	内容	場所	参加者
	11/23	居場所についてのワーク	日野市市民の森 ふれあいホール	55人
事業効果・評価 方向性等	③「まち活」NPO法人ひの市民活動団体連絡会との共同開催			
	開催日	内容	場所	参加者
	2/11	NPO等と市民との出会いの場の 開催	多摩平の森 ふれあい館	約100 人
	・平山台工業連絡会（七日会）と連携し、企業が行う CSR 活動の研修 として、日野市障害者施設の見学・食事・商品購入ボランティア研修 を行った。市内の障害者施設を巡り、施設でつくられている商品を詰 め合わせを参加者に購入してもらい、障害者施設の理解と企業の障害 者施設の連携を考える場をつくった。 ・日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト実行委員 会で、地域の商業と市民と学生との協働で企画する毎月開催の地域活 性イベント「チャネルマーケット」が新たに始まった。 ・平成28年度の市民フェア実行委員会では、実行委員企画として映 画「さとにきたらええやん」を上映し、また市民のつどい「あなたに とって居場所とは？」を行った。この企画については、日野市ボラン ティア・センターと日野市社会福祉協議会の地域支援係も共同で行 い、社協が支援をしている市内のサロン活動団体の参加が多数あっ た。今後も市民活動団体とともに市民活動や地域活動を醸成していく ため共同企画を続けていく。			

事業内容	6. 災害支援
実績報告	1) みんなでつくる日野の防災プロジェクト 災害に強い地域づくりのために必要なネットワークを形成することを目的に設置。災害ボランティアセンター運営訓練、防災(減災)学習プログラムの実施、ネットワークの構築を目標に、委員会形式でプロジェクトを推進。 ①委員会 3回 (4/25, 10/27, 3/13) ②委員構成 ・中央大学 ・日野市民 ・日野市在勤者 ・工房夢ふうせん ・地域包括支援センター ・日野青年会議所 ・東京都社会福祉協議会 ・日野市役所 (防災安全課、福祉政策課) ・明星大学 ・日野市民生委員・児童委員協議会 ・日野市赤十字奉仕団 ・日野第七小学校 ・ひの市民活動団体連絡会 ・NPO法人水と緑の環境ネットワークの会 ・日野市ボランティア・センター ・日野市社会福祉協議会 2) 「平成28年日野市民でつくる防災・減災シンポジウム」の実施 市内の自主防災組織に呼びかけ、自主防災組織の有志とみんなでつくる日野の防災プロジェクト運営委員で実行委員会をつくり、地域で活動する中での課題をもとにシンポジウムを行った。 ①実行委員会 5回 (4/25, 5/16, 6/13, 7/4, 8/4) ②実行委員 (敬称略) ・鈴木勝豊 (五小防災会) 実行委員長 ・五十嵐藤雄 (新川辺自治会) ・前田 敏 (新川辺自治会) ・石見広敏 (松ヶ丘自治会防災会) ・内垣内守 (松ヶ丘自治会防災会) ・野澤一弘 (松ヶ丘自治会防災会) ・黒川久光 (南平6丁目田中自治会) ・鈴木直美 (万願荘自主防災会) ・中村マコト (百草御林山自治会／七生緑小地域自主防災会) ・奈良義徳 (泉塚自治会自主防災会) ・みんなでつくる日野の防災プロジェクト委員一同 ③平成28年日野市民でつくる防災・減災シンポジウム 日時 7/16 (土) 13:00～17:00 会場 実践女子大学 本館4階441教室 主催 日野市民でつくる防災・減災シンポジウム実行委員会

	共催 日野市、みんなで作る日野の防災プロジェクト 日野市社会福祉協議会、日野市ボランティア・センター 協力 日野消防署、国土交通省関東地方整備局 京浜河川事務所 日野市教育委員会、実践女子大学 参加者 142人
	内容
第1部	基調講演（日野市地域防災計画含む） 「災害から大切な人と地域を守る」 ～新潟県中越大震災の教訓から学ぶ～ 講師 佐藤知己 氏 （NPO法人防災サポートおぢや理事長） （元小千谷市助役 災害対策副本部長） 日野市の防災の取り組み 発表者 立川 智 氏 （日野市総務部 参事 防災安全課長事務取扱）
第2部	分科会 テーマ「災害時の課題に地域で立ち向かう！」 第1分科会 「みんなで考える避難所の運営」～過去の教訓から学ぶ～ 講師 黒須さち子 氏 （埼玉県男女共同参画推進センター ～With You さいたま～） 事例発表 平田康代 氏（五小防災会） 第2分科会 「自助・共助をあらためて問う！」～自分たちのまちを自分たちの手で守る～ 講師 村上伸太郎 氏 （日野消防署 警防課 地域防災担当係長） 事例発表 鈴木直美 氏（万願荘自主防災会） 第3分科会 「災害時要配慮者って？」 ～だれも死なせない地域をつくる～ 事例発表 大川 稔 氏 （自立生活センター・日野） 富張理子 氏 （夢ふうせん利用者の家族） 豊かな里（高齢者施設） 内垣内 守 氏（松が丘自主防災会） 望月 徹 氏（豊田団地自主防災会） 報告 宮澤隆之 氏（高齢福祉課課長） 根津敏明 氏（障害福祉課課長） 第4分科会 「水害に備える！」～地域で危険を回避する～ 講師 齊藤松美 氏 （国土交通省 京浜河川事務所 防災情報課 建設専門官） 立川 智 氏 （日野市総務部 参事 防災安全課長事務取扱）

3) 災害時要配慮者・避難行動要支援者のヒアリング調査

プロジェクト設立当初からの懸案事項である災害時要配慮者・避難行動要支援者のヒアリング調査を次の3点を目的に行った。今後、この調査内容を整理し、各機関と連携し課題の解決に向けて実行する。

- ①ヒアリング調査の内容を自主防災組織等で地域の防災活動の参考にして活用してもらう。（平時に取組めること、有事に対応すること等）
- ②ヒアリング調査の内容を福祉避難所の運営に生かしてもらう。
- ③ヒアリング調査をする中で、災害ボランティアセンターの周知と連携強化を図る。

調査期間 1/17～3/27

対象者

- ①自立生活センター・日野 大川 稔 氏
- ②日野市視覚障害者協会
- ③日野市聴覚障害者協会
- ④日野市精神障害者家族会日野いずみ会
- ⑤日野市手をつなぐ親の会
- ⑥高次脳機能障害と家族の会かしのきひの
- ⑦日野市発達・教育支援センター エール 保護者会
- ⑧こどもでいさびす にじいろ
- ⑨特別養護老人ホーム 浅川苑
- ⑩夢ふうせん アネックス
- ⑪日野市発達・教育支援センター エール

4) 平成28年熊本地震支援活動

- ①日野市役所熊本地震支援緊急会議 1回 (4/18)

②支援義援金街頭募金活動

開催日	場所	参加者	募金額
4/22	高幡不動駅周辺	明星大学 中央大学 首都大学東京	420,567円
5/1	イオンモール多摩平の森	中央大学 明星大学 法政大学 実践女子大学 東京薬科大学 成蹊大学	230,558円
5/8	日野宿本陣付近	明星大学 中央大学 首都大学東京 実践女子大学 法政大学 東京薬科大学	148,004円
5/15	日野駅前広場	キャナルマー ケット出店者	3,216円

※寄付先は以下の通り。

4/22 日野市社会福祉協議会から熊本県共同募金会へ

5/1 イオンモール多摩平の森から熊本県へ

5/8 日野市から日本赤十字社へ

5/15 東京災害ボランティアネットワークから中央共同募金会へ

5) 「イザ！カエルキャラバン！」の開催支援

NPO法人プラス・アーツが企画した子どもと一緒に楽しみながら参加できる防災体験プログラム。開催する団体を支援することで、地域で暮らす市民同士の連携を深め、震災に強い地域づくりを目指す。ワークショップや当日サポート等の支援を行う。

①実施セミナー

開催日	内容	参加者
5/23	三中地区アクションプラン実行委員会	10人
6/7	日野第六小学校・PTA	5人
7/13	旭が丘小学校・学校支援ボランティア・PTA	18人
7/25	滝合小学校・滝合小地区自治会	12人
7/30	日野市ボランティア・センター主催	29人
9/27	実践女子大学 井口ゼミ	50人
10/22	滝合小学校地域自治会合同防災訓練	約40人
10/30	リーデンススクエア管理組合(地域支援係)	約10人
11/6	三中学校アクションプラン 三井台自治会 (地域支援係)	約10人

②「イザ！カエルキャラバン！」実施支援

開催日	主催	参加者
5/23	泉塚自治会 (五小まつり内)	約500人
8/18	三中地区アクションプラン	37人
9/3	日野第六小学校・PTA (六小防災キャンプ)	約80人
10/1	東光寺小学校まつり	約600人
10/22	滝合小学校地域自治会合同防災訓練	地域住民 約150人 生徒 403人
10/23	黒川自治会	60人
10/28	つくしんぼ保育園	園児 約50人
11/13	リーデンススクエア管理組合(地域支援係)	約30人
11/13	三中学校アクションプラン 三井台自治会 (地域支援係)	43人
11/20	緑ヶ丘自治会防災訓練	約200人

6) 地域の防災減災に取り組む団体への防災プログラムの実施・発表
 地域防災減災をキーワードに地域の課題を顕在化し、日頃の地域福祉活動を考える機会とした。

①避難所運営ゲーム (HUG) の実施

開催日	対象者	参加者
7/6	南平高校教員 ※HUG実施説明	14人
7/8	南平高校1年生 ※HUG事前説明	321人
7/12	南平高校1年生	321人
7/30	日野第三中学校宿泊防災訓練参加者	約50人
9/12	七生中学校1年生	162人
10/21	平山小学校避難所運営訓練参加者	4年生84人 教員35人 地域住民40人
11/15	五小防災会 (市委託事業)	30人
12/19	南平高校1年生	321人
2/16	四小防災会 (市委託事業)	25人
2/26	緑ヶ丘自主防災会	13人

②災害図上訓練 (DIG) の実施

開催日	対象者	参加者
8/7	南平六丁目田中自治会	約50人
10/18	五小防災会 (市委託事業)	30人
11/23	ひばりが丘自治会	17人
12/8	四小防災会 (市委託事業)	25人

③防災減災活動の実施・発表

開催日	対象者	内容	参加者
8/7	南平六丁目田中自治会	災害ボランティアセンターの役割	約50人
8/27 8/28	七生中学校宿泊防災訓練参加者	防災プログラム実施	約50人
9/11	南平六丁目田中自治会	防災プログラム実施	約50人
11/6	日野市総合防災訓練	災害時要配慮者体験	約50人
11/20	平山苑自主防災会	安否確認訓練	参加率 91%
11/26	ハ小地区防災訓練 (日野市主催)	車いす体験	約 140人
2/18	被災地に学ぶ生きる力 プロジェクト (生徒会サミット)	防災減災活動の今後の協力について	市内全 中学校 生徒会
2/25	ハッピーマザーの会	クロスロード	45人
3/10	日野第一中学校	3.11東日本大震災を忘れないための朝礼講話	生徒 722人

	7) 災害ボランティアセンター立上げ訓練 大規模災害時に立ち上げ・運営を行う災害ボランティアセンターの訓練を、実際に設置するひの煉瓦ホールで実施した。 <table><tr><td>開催日</td><td>内容</td><td>参加者</td></tr><tr><td>12/15</td><td>災害ボランティアセンター総務班の役割</td><td>76人</td></tr></table>	開催日	内容	参加者	12/15	災害ボランティアセンター総務班の役割	76人
開催日	内容	参加者					
12/15	災害ボランティアセンター総務班の役割	76人					
事業効果・評価 方向性等	・27 年度、多くの反響のあった「日野市民でつくる防災・減災シンポジウム」を、28 年度も引き続き実施した。実施にあたり、市内の自主防災組織に呼びかけ、自主防災組織の有志とみんなでつくる日野の防災プロジェクト運営委員で実行委員会をつくり、地域で活動する中での課題を元にシンポジウムを行った。参加者アンケートで実行委員会への参加に関心のある方が 26 人いた。 ・「イザ！カエルキャラバン！」（子どもと一緒に楽しみながら参加できる防災体験プログラム）の実施セミナーの依頼が大幅に増加した。特徴として小学校と PTA と地域団体が連携したものがあつた。また、三中地区アクションプラン実行委員会として、「イザ！カエルキャラバン！」を推進していく動きがある。 ・地域での避難所運営ゲーム（HUG）と災害図上訓練（DIG）実施の実績から、日野市より 28 年度防災普及活動業務委託受け、28 年度下半期に避難所運営組織である小学校地区防災会で避難所運営ゲーム（HUG）と災害図上訓練（DIG）を行うことになった。 ・平成 28 年 4 月 14 日に発災した熊本県と大分県で発生した地震により被災した地域の支援活動を行った。多摩地域の各大学や新選組まつり実行委員会等と協力しながら活動を行った。 ・災害ボランティアセンター立ち上げ訓練では、多様な相談が入ってくる総務班の役割を各種機関の参加者とともにシュミレーションワークを行った。社協職員の危機対応訓練（ファシリテーション訓練）を含め、各機関の強みを確認しながら様々な課題解決をしていくための連携訓練となった。						
事業内容	7. 広報活動						
実績報告	1) 情報紙「ボランティア①インフォメーション」 毎月発行 各号4,000部発行 2) フェイスブックの運営 イベント開催時等で随時更新 3) 配布ボランティア感謝の集い 配布ボランティアに一年間のお礼を兼ねた交流会を開催した。 実施日 11/28（月）場所 カフェラペンテ 参加者 22人						
事業効果・評価 方向性等	・ボランティア①インフォメーションは、より多くの人に関心を持てる内容と市民活動団体や福祉関係者との連携強化を目的に毎月各団体に取材を実施し掲載を行っている。 ・フェイスブックの運営は、イベント告知や報告を行うと共により新鮮な情報を素早く行えるよう実施した。						

事業内容	8. ボランティアセンター運営委員会準備会	
実績報告	1) ボランティアセンター勉強会 ボランティアセンター運営委員会の検討にあたり、職員・窓口相談員を対象とした勉強会を開催した。 日時 2/24 (金) 15:00～17:00 場所 中央公民館講座室1・2 講師 枝見太郎 氏 (一般財団法人 富士福祉事業団 理事長) 内容 ボランティアセンターに求められる使命と役割 参加者 26人	
事業効果・評価 方向性等	ボランティアセンター運営委員会の運営体制について検討するため、勉強会を実施した。運営委員会を立ち上げるにあたり、更なる理解を深めるよう努めていく。	
事業内容	9. 講座・研修	
実績報告	1) 福祉体験講座 体験や当事者の講演を通して、福祉や障害のある方について学ぶ機会を提供することを目的に、福祉施設職員、ボランティア等と共に講座を実施。	
	開催日	内容
	7/7	車椅子体験 対象者 明星大学 学生
	10/20	車椅子体験 講師 山田彰一 氏(車椅子利用者) 対象者 東光寺小学校 4年生65人
	10/21	ブラインドウォーク体験 講師 菊池美由紀 氏 (視覚障害者、東京光の家職員) 対象者 日野第四小学校 4年生120人
	10/22	ブラインドウォーク体験 対象者 潤徳小学校 4年生140人
	11/9	視覚障害者の理解について 講師 菊池美由紀 氏 (視覚障害者、東京光の家職員) 対象者 七生緑小学校 4年生59人
	11/10	車椅子体験 講師 山田彰一 氏(車椅子利用者) 北村 中 氏(肢体不自由者) 対象者 日野第五小学校 4年生91人
	11/11	車椅子体験 講師 北村 中 氏(肢体不自由者) 対象者 日野第五小学校 4年生91人
	11/29	車椅子体験、ブラインドウォーク体験 講師 山田彰一 氏(車椅子利用者) 河野泰弘 氏(視覚障害者) 対象者 七生中学校 3年生155人
	2/13	車椅子体験 講師 山田彰一 氏(車椅子利用者) 対象者 南平小学校 6年生103人
	2/15	車椅子体験 講師 山田彰一 氏(車椅子利用者) 対象者 滝合小学校 4年生49人
	2) 日野市地域包括支援センター新任職員研修 日野市地域包括支援センター新任職員研修内でボランティアセンターの役割について説明を行った。 実施日 4/8	

3) 三菱東京UFJ銀行C．C．P研修

三菱東京UFJ銀行新入社員を対象に、地域社会の中でボランティア活動を体験することで、社会の一員として人や社会に自分ができることを積極的に提供していく姿勢を身につけてもらうための研修を、市内福祉施設等の協力を得て行った。

日程	内容	場所
5/24	ボランティア体験研修①	対象施設※
5/25	振り返りと準備	三菱東京UFJ銀行研修会場
5/26	ボランティア体験研修②	対象施設※
5/27	振り返り	三菱東京UFJ銀行研修会場

※受入施設

つくしんぼ保育園、万願寺保育園、すずかけの家、光の家
七生福祉園、マザアス、浅川苑

4) スポーツボランティア講習会

日野市文化スポーツ課と共催で、2020年オリンピック・パラリンピックの醸成事業の一環として、スポーツボランティアに関心がある方を対象に行った。

開催日 9/17 場所 PlanT 参加者 15人

5) ボランティア入門講座

ボランティア活動のはじめの一步を踏み出すきっかけづくりとして開催。

開催日	場所	内容	参加者
3/24	平山季重ふれあい館	車いす利用者の講演 ワークショップ 車いす実施体験	2人
3/28	中央福祉センター		5人
3/30	福祉支援センター		4人
3/31	多摩平ふれあい館		16人

6) 認知症サポーターフォローアップ研修内でのボランティア説明

「地域包括支援センターもぐさ」が開催した認知症サポーターフォローアップ研修内で、ボランティア活動の説明を行った。

実施日 10/14 場所 湯沢福祉センター

7) ボランティアグループアロマの会ラベンダー研修内でボランティア説明

実施日 10/9 場所 老人保健施設クローバー 参加者10人

8) 多職種連携研修での認知症高齢者支援事業制度説明

高齢福祉課の開催する多職種連携研修でボランティアセンターをはじめ社会福祉協議会の行うインフォーマルな高齢者支援事業についての説明を行った。

実施日 1/23 場所 日野市役所 参加者 51人
(ケアマネージャー36人、行政職員3人、包括支援センター職員12人)

事業効果・評価 方向性等	・三菱東京UFJ銀行C．C．P研修は、新人職員の研修だけでなく、各受入施設にとって、利用者と他者との機会をつくることや、施設職員の意識と意欲の向上の機会になっている。 ・2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を4年後に迎えるにあたり、文化スポーツ課と共催でスポーツボランティア講習会を開催した。スポーツボランティアをきっかけとして、地域のボランティア活動へ参加しやすい環境づくりを文化スポーツ課と連携し行っていきたい。 ・各関係機関の研修事業等でボランティアに関する説明を行う機会があり、その後の相談につながった。今後も関係機関との情報交換と連携を深めていきたい。 ・今年度は、ボランティア活動のはじめの一步を踏み出すきっかけづくりとして、ボランティア講座を開催し、ボランティアの増加を目指した。サービス付き高齢者向け住宅の住民がお互いの助け合いを目的に多く参加した。																					
事業内容	10. その他																					
実績報告	1) ボランティア保険取扱事業 ①東京都社会福祉協議会ボランティア保険加入取扱 <table><tr><td></td><td colspan="2">団体</td><td>個人</td></tr><tr><td>28年度</td><td>459件</td><td>3,083人</td><td>661人</td></tr><tr><td>27年度</td><td>441件</td><td>3,279人</td><td>485人</td></tr></table> ②東京都社会福祉協議会行事保険加入取扱 <table><tr><td></td><td>件数</td><td>人数</td></tr><tr><td>28年度</td><td>113件</td><td>4,166人</td></tr><tr><td>27年度</td><td>53件</td><td>2,397人</td></tr></table> 2) 研修会・関係会議 ・まちづくり市民フェア2016準備会 ・まちづくり市民フェア2016実行委員会 ・まちづくり市民フェア2016実行委員会企画会議 ・ボランティア・市民活動推進機関のあり方検討委員会 ・みんなの遊友ランド準備会 ・大学との連携会議 ・七生中学校防災宿泊訓練実行委員会 ・ハ小まつり実行委員会 ・スポーツレクリエーションフェスティバル実行委員会 ・日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト ・南多摩ブロックボランティア担当者会議 ・四小防災会会議 ・ハ小避難所運営準備会 ・東光寺小学校避難所開設準備会 ・日野台高校防災会議 ・日野市子どもの人権を守る協議会 ・日野市生活困窮者自立相談支援事業支援調整会議		団体		個人	28年度	459件	3,083人	661人	27年度	441件	3,279人	485人		件数	人数	28年度	113件	4,166人	27年度	53件	2,397人
	団体		個人																			
28年度	459件	3,083人	661人																			
27年度	441件	3,279人	485人																			
	件数	人数																				
28年度	113件	4,166人																				
27年度	53件	2,397人																				

	3) 誰でもすぐに参加できるボランティア活動（すぐボラ） ①使用済み切手・プリペイドカード、ペットボトルキャップの収集 協力件数 延べ589件 ②軽作業ボランティア（毎月第1月曜日） 何らかの課題を抱えた方が安心して活動出来るよう、本人に配慮したプログラムを提案し、ボランティア・センター内での活動を行った。
事業効果・評価 方向性等	・関係会議では、様々な団体や機関からの依頼を受け参加している。傾向として、防災関係の会議の協力依頼が多くある。背景として、日野市が進める各小学校を中心とした避難所運営委員会の立ち上げに伴い、防災に関するアドバイスやファシリテーターとしての役割を期待されていると考えられる。 ・日野市ボランティア・センターとして、地域の防災力の向上（地域のつながりの強化）と災害ボランティアセンターの役割の理解を広めるため、多くの現場に出向き関係を深めていく必要がある。

事業名	日野市介護サポーター制度		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	ボランティア係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	ボランティア活動の支援とともに、元気高齢者が積極的に社会参加、地域貢献が行えるよう努めるとともに、介護予防についての理解を深める。		
事業内容	1. 介護サポーターの運営・相談支援		
実績報告	1) 登録者および施設数		
		登録者	受入施設
	28年度	388人	50施設
	27年度	374人	47施設
	2) 「日野市認知症を考える月間事業」でのPR 市民啓発講座および認知症サポーター養成講座において、介護サポーター制度の紹介を行った。		
	開催日	場所/内容	
	9/10	多摩平の森イオンホール/市民啓発講座「妻の病」上映会	
	9/17	ひの煉瓦ホール/認知症サポーター養成講座	
	10/14	湯沢福祉センター/認知症サポーターフォローアップ研修（地域包括支援センターもぐさ）	
	3) 介護サポーター制度の周知 ボランティアインフォメーション3月号掲載 ひの社協だより225号掲載		
	4) 介護サポーター制度説明会		
	開催日	場所	相談者
3/22	中央福祉センター	4人	
3/29	福祉支援センター	6人	
5) 介護サポーター制度登録者向け研修			
開催日	内容	参加者	
3/22	ひの健幸貯筋体操 講師 上松 剛 氏	14人	
3/29	認知症って何だろう？ 講師 地域包括支援センターあさかわ	10人	
事業効果・評価 方向性等	・登録者は微増している。介護サポーター制度の登録者増加に向けて地域包括支援センターが行う認知症サポーターフォローアップ研修やボランティア団体の研修等で制度紹介を行っていく。		

事業名	日野市生涯学習支援システム ポータルサイト「Hi Know!」													
事業形態	補助事業（日野市）													
財源内訳	補助金													
担当係	ボランティア係													
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ													
目的	市内のイベント、団体・サークル活動等を紹介するポータルサイトを展開し、“新たな発見”“人との出会い”“地域とのつながり”“夢の実現”等のきっかけづくりのため、様々な団体・グループ等とともに市民目線で情報提供を行う。													
事業内容	1. 地域団体・まち記者による情報発信・提供													
実績報告	「Hi Know!」は、富士通研究所(株)が「日野市を社会参加しやすいまちにする」ことを目的に実施する社会貢献活動としてWEBサイトを開発。現在、日野市ボランティア・センターが日野市や関係事業者と連携し事務局を担当、27年度から日野市の補助事業となる。													
	1) 「Hi Know!」閲覧数（平成28年4月1日～平成29年3月31日） ・トップページ 547,598 件 ・団体毎アクセス数 28,502 件 ・イベント毎アクセス件数 40,843 件 ・まち記者毎取材記参照数 46,860 件													
	2) 登録団体数 178団体（平成28年度新規登録団体 21団体）													
	3) まち記者 ①登録者数 33人 ②まち記者ミーティング 毎月開催 ③「Hi Know!」説明会													
	<table><tr><td>開催日</td><td>場所</td><td>対象者</td><td>参加者</td></tr><tr><td>4/20</td><td>中央公民館</td><td>公民館職員</td><td>10人</td></tr><tr><td>5/13</td><td>中央公民館高幡分室</td><td>利用団体、公民館職員</td><td>12人</td></tr></table>	開催日	場所	対象者	参加者	4/20	中央公民館	公民館職員	10人	5/13	中央公民館高幡分室	利用団体、公民館職員	12人	
開催日	場所	対象者	参加者											
4/20	中央公民館	公民館職員	10人											
5/13	中央公民館高幡分室	利用団体、公民館職員	12人											
④まち記者養成講座 開催日 9/16 講師 下村友恵 氏（合同会社アースプロジェクト） 参加者 12人（現役まち記者5人を含む） 新規まち記者登録者6人														
4) 広報 ・公民館・・・・・・・・登録団体への周知 ・生涯学習課・・・・・・・・サークル団体・施設ガイド団体への周知 ・ボランティア①インフォメーション（毎月掲載）4,000 部														
事業効果・評価 方向性等	・高齢福祉課の進める介護予防事業を推進する事を目的に「Hi Know!」で介護予防登録団体や介護予防登録団体が行う介護予防イベントが検索できるように改修作業を進めている。													

助成事業

事業名	歳末たすけあい地域福祉活動助成		
事業形態	歳末たすけあい募金配分金事業		
財源内訳	歳末たすけあい募金配分金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる		
目的	歳末たすけあい募金を原資とした助成金を、障害者団体や当事者団体、ボランティアグループ等に交付し、地域福祉活動の推進を図る。		
事業内容	1. 助成金申請受付・決定・交付		
実績報告	歳末たすけあい地域福祉活動助成金は、申請した翌年度に助成金が交付される仕組みとなっている。		
	1) 助成金決定・交付 27年度申請団体に対し、助成金の決定及び交付		
		団体名	金額
	1	日野市赤十字奉仕団	80,000円
	2	日野市肝臓病友の会	75,000円
	3	日野精神障害者家族会 日野いずみ会	41,000円
	4	日野市老人クラブ連合会	100,000円
	5	日野市聴覚障害者協会	75,000円
	6	ひの手話サークル	75,000円
	7	高次脳機能障害者と家族の会 かしのきひの	80,000円
	8	工芸技能研究所	65,000円
	9	ACT	80,000円
	10	おたすけ個別補習塾	70,000円
	11	朗読サークル「ひの」	50,000円
	12	子どもへのまなざし	63,000円
	13	ひの子ども支援塾	80,000円
	14	市民サポートセンター日野	70,000円
	15	成年後見サポートひの	80,000円
	16	日野市視覚障害者協会	24,000円
	17	日野市身体障害者福祉協会	50,000円
	18	緑を愛する会日野	50,000円
	19	日野市障害者関係団体連絡協議会	36,000円
	20	ひの・I-BASYO	80,000円
	21	日野失語症者交流会すずめ	75,000円
	22	NPO法人ひの市民活動団体連絡会	70,000円
	23	武蔵野ダルク	31,000円
		合計	1,500,000円

	2) 助成金申請受付	
	団体名	金額
	1 日野市老人クラブ連合会	100,000円
	2 日野市聴覚障害者協会	75,000円
	3 ひの手話サークル	97,000円
	4 ACT	100,000円
	5 おたすけ個別補習塾	75,000円
	6 日野市身体障害者福祉協会	60,000円
	7 日野市障害者関係団体連絡協議会	40,000円
	8 特定非営利活動法人フードバンクTAMA	100,000円
	9 緑を愛する会日野	42,000円
	10 高次脳機能障害者と家族の会 かしのきひの	50,000円
	11 日野失語症者交流会すずめ	75,000円
	12 HINO飛ぶ教室	100,000円
	13 日野市視覚障害者協会	24,000円
	14 日野精神障害者家族会 日野いずみ会	41,000円
	15 日野市赤十字奉仕団	100,000円
	16 市民サポートセンター日野	70,000円
	17 ボランティアグループ「こすもす」	100,000円
	18 朗読サークル「ひの」	90,000円
	19 ひの・I-BASYO	100,000円
	合計	1,439,000円
事業効果・評価 方向性等	・日野市社会福祉協議会には、現在 3 種類の助成金制度がある。（赤い羽根共同募金配分金（A 配分/B 配分）、歳末たすけあい地域福祉活動助成、地域支え合い福祉活動助成）。特に歳末たすけあい地域福祉活動助成、地域支え合い福祉活動助成の 2 種類の違いがいまいな部分があるので、係間で調整を図っていきたい。	

事業名	地域支え合い福祉活動助成
事業形態	独自事業
財源内訳	会費
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	会費を原資とした助成金を、平成28年4月から始まるぶらっと協議会（地区社協）及び地域で当事者や利用者の仲間づくり、情報交換といった居場所づくりを行っている地域交流サロン等の非営利団体に交付し、地域福祉活動の活性化を図る。

事業内容	1. サロン活動助成																																																																																																						
実績報告	申請に基づき地域交流サロン団体等へ助成金を交付した。 11月にサロン活動助成の追加募集を行ったところ、1団体から申請を受け、助成金を交付した。																																																																																																						
	1) 助成金決定・交付 28年度受配団体（27年度申請）に、助成金を交付																																																																																																						
	<table><tr><th></th><th>団体名</th><th>金額</th></tr><tr><td>1</td><td>ボランティアグループ「こすもす」</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>2</td><td>アンサンブル*レヴ</td><td>9,000円</td></tr><tr><td>3</td><td>エプロン・ママ</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>4</td><td>グループはらっぱの会</td><td>18,000円</td></tr><tr><td>5</td><td>子育て支援グループ「かるがも」</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>6</td><td>この葉会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>7</td><td>青春グループ</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>8</td><td>なごみ会</td><td>18,000円</td></tr><tr><td>9</td><td>にほんごあいあい</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>10</td><td>日野国際友好クラブ</td><td>27,000円</td></tr><tr><td>11</td><td>ホットやすらぎ会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>12</td><td>ボランティアグループ「かたつむり」</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>13</td><td>南新井ふれあいサロン協議会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>14</td><td>ふれあいサロン「縁がわ」世話人会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>15</td><td>レモン倶楽部</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>16</td><td>日野台さわやか会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>17</td><td>さざんかの会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>18</td><td>大坂上百合の木会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>19</td><td>元気印健康クラブ</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>20</td><td>歌で楽しむ元気会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>21</td><td>地域交流スペース「ひだまり」</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>22</td><td>ふれあいあじさいサロン</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>23</td><td>なつかしい歌の会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>24</td><td>三世代ふれあいの会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>25</td><td>緑ヶ丘自治会「談笑縁」</td><td>50,000円</td></tr><tr><td>26</td><td>日野台にこにこカフェ</td><td>50,000円</td></tr><tr><td>27</td><td>都営日野三沢アパート友遊会</td><td>50,000円</td></tr><tr><td>28</td><td>つどい場さざんか</td><td>50,000円</td></tr><tr><td>29</td><td>サロン程久保</td><td>50,000円</td></tr><tr><td>30</td><td>日野市パーキンソン病友の会</td><td>50,000円</td></tr><tr><td>31</td><td>日野おはなしの会</td><td>30,000円</td></tr><tr><td>32</td><td>特定非営利活動法人はっぴーらいふ</td><td>50,000円</td></tr><tr><td></td><td>合計</td><td>1,052,000円</td></tr></table>		団体名	金額	1	ボランティアグループ「こすもす」	30,000円	2	アンサンブル*レヴ	9,000円	3	エプロン・ママ	30,000円	4	グループはらっぱの会	18,000円	5	子育て支援グループ「かるがも」	30,000円	6	この葉会	30,000円	7	青春グループ	30,000円	8	なごみ会	18,000円	9	にほんごあいあい	30,000円	10	日野国際友好クラブ	27,000円	11	ホットやすらぎ会	30,000円	12	ボランティアグループ「かたつむり」	30,000円	13	南新井ふれあいサロン協議会	30,000円	14	ふれあいサロン「縁がわ」世話人会	30,000円	15	レモン倶楽部	30,000円	16	日野台さわやか会	30,000円	17	さざんかの会	30,000円	18	大坂上百合の木会	30,000円	19	元気印健康クラブ	30,000円	20	歌で楽しむ元気会	30,000円	21	地域交流スペース「ひだまり」	30,000円	22	ふれあいあじさいサロン	30,000円	23	なつかしい歌の会	30,000円	24	三世代ふれあいの会	30,000円	25	緑ヶ丘自治会「談笑縁」	50,000円	26	日野台にこにこカフェ	50,000円	27	都営日野三沢アパート友遊会	50,000円	28	つどい場さざんか	50,000円	29	サロン程久保	50,000円	30	日野市パーキンソン病友の会	50,000円	31	日野おはなしの会	30,000円	32	特定非営利活動法人はっぴーらいふ	50,000円		合計	1,052,000円
		団体名	金額																																																																																																				
	1	ボランティアグループ「こすもす」	30,000円																																																																																																				
	2	アンサンブル*レヴ	9,000円																																																																																																				
	3	エプロン・ママ	30,000円																																																																																																				
	4	グループはらっぱの会	18,000円																																																																																																				
	5	子育て支援グループ「かるがも」	30,000円																																																																																																				
	6	この葉会	30,000円																																																																																																				
	7	青春グループ	30,000円																																																																																																				
	8	なごみ会	18,000円																																																																																																				
	9	にほんごあいあい	30,000円																																																																																																				
	10	日野国際友好クラブ	27,000円																																																																																																				
	11	ホットやすらぎ会	30,000円																																																																																																				
	12	ボランティアグループ「かたつむり」	30,000円																																																																																																				
	13	南新井ふれあいサロン協議会	30,000円																																																																																																				
	14	ふれあいサロン「縁がわ」世話人会	30,000円																																																																																																				
	15	レモン倶楽部	30,000円																																																																																																				
	16	日野台さわやか会	30,000円																																																																																																				
	17	さざんかの会	30,000円																																																																																																				
	18	大坂上百合の木会	30,000円																																																																																																				
	19	元気印健康クラブ	30,000円																																																																																																				
	20	歌で楽しむ元気会	30,000円																																																																																																				
	21	地域交流スペース「ひだまり」	30,000円																																																																																																				
	22	ふれあいあじさいサロン	30,000円																																																																																																				
	23	なつかしい歌の会	30,000円																																																																																																				
	24	三世代ふれあいの会	30,000円																																																																																																				
	25	緑ヶ丘自治会「談笑縁」	50,000円																																																																																																				
	26	日野台にこにこカフェ	50,000円																																																																																																				
	27	都営日野三沢アパート友遊会	50,000円																																																																																																				
	28	つどい場さざんか	50,000円																																																																																																				
	29	サロン程久保	50,000円																																																																																																				
	30	日野市パーキンソン病友の会	50,000円																																																																																																				
31	日野おはなしの会	30,000円																																																																																																					
32	特定非営利活動法人はっぴーらいふ	50,000円																																																																																																					
	合計	1,052,000円																																																																																																					
事業効果・評価 方向性等	・サロン活動の支援の際に助成金の活用することで、有効な支援ができた。 ・地域住民の様々な居場所づくりに対して、関心が高まっており、サロン活動助成についての相談が増加している。																																																																																																						

事業内容	2. 地区社協助成（新規）
実績報告	申請に基づき地区社協へ助成金を交付した。 1) 助成金決定・交付 南平地区社会福祉協議会　ぷらっと南平　　300,000円
事業効果・評価 方向性等	日野市内で初めて立ち上げられた南平地区社協に対して助成を行うことで、安定的な運営、活動が期待される。

事業名	塚田・太田奨学資金		
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）		
財源内訳	寄附金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	本奨学金は、東京都社会福祉協議会が昭和43年度に故太田よね 氏、昭和57年度に塚田孝雄 氏からの寄附金を財源に、都内の要援護世帯で高校等への進学が困難な方へ交付している奨学金である。当会は本奨学金の周知・受付を行い、教育資金の一助になるよう努めるものである。		
事業内容	1. 申請書類の受付・奨学生の決定		
実績報告	募集人数（都内）60人		
	交付金額50,000円		
	1) 実績		
		申請者	交付決定者
	28年度	6人	6人
	27年度	1人	1人
事業効果・評価方向性等	・日野市立小中学校校長会及び日野市セーフティネットコールセンターで本奨学金を周知したことにより、申請者が増加した。 ・奨学金募集時期に、広報ひのやひの社協だより等での周知の他に、関係機関への働きかけも重要であることが分かった。今後も継続していきたい。		

事業名	ヒカリ興業奨学基金		
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）		
財源内訳	寄附金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	本奨学資金は、平成17年度「ヒカリ興業(株)」からの寄付により基金を設立し、翌年度の入学者から給付開始したものである。平成23～24年度は募集停止。 平成25年度（翌年度の入学者）から募集再開した。当会は本奨学金の周知・ 受付を行い、教育資金の一助になるよう努めるものである。		
事業内容	1. 申請書類の受付・奨学生の決定		
実績報告	募集人数（都内）大学等 3人 高校等 5人 交付金額（年額）大学等 240,000円 高校等 150,000円 ※いずれも所定就学期間のみ		
	1) 実績		
		申請者	交付決定者
	28年度	7人	1人
27年度	2人	0人	
事業効果・評価 方向性等	・日野市立小中学校校長会及び日野市セーフティネットコールセンターにおいて本奨学金を周知したことにより、申請者が増加した。 ・奨学金募集時期に、広報ひのやひの社協だより等での周知の他に、関係機関への働きかけも重要であることが分かった。今後も継続していきたい。		

生活福祉資金貸付事業

事業名	生活福祉資金貸付事業				
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）				
財源内訳	受託金				
担当係	総務係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	所得の少ない世帯、障害者世帯、介護を必要とする高齢者がいる世帯に対し、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、必要な相談援助と資金の貸付を行う。				
事業内容	1. 貸付相談及び貸付申請事務手続き				
実績報告	1) 貸付相談 来所、電話、連絡調整等を含む実績は下記の通り。				
		相談			
	28年度	1,105件			
	27年度	1,012件			
	2) 貸付件数				
		貸付	貸付金額		
	28年度	20件	36,500,000円		
	27年度	20件	30,516,000円		
	3) 貸付実績内訳				
		福祉費	緊急小口	教育支援	総合支援
	28年度	6件	1件	13件	0件
	27年度	2件	2件	16件	0件
	※福祉費6件の内訳				
	・転宅費 1件				
	・葬祭費 1件				
	・出産費 1件				
	・技能習得費 1件				
	・生活保護世帯のエアコン購入 2件				
	4) 総合支援資金の相談支援				
総合支援資金は、平成21年10月に創設された資金である。貸付後に継続的な相談支援を受けることが貸付条件となっており、月1回の面接で就職活動の報告を受け、早期の就労を目指した支援を行っている。					
・借受人総数 44人					
(内訳)					
・資金完済者 5人					
・償還免除者 3人(債務整理 2人 借受人死亡 1人)					
・東京都社会福祉協議会へ事務移管 1人					
・大阪府社会福祉協議会へ事務移管 1人					
・現在の借受人 34人					
・就職者 28人					
・就職率 82.4%					

事業効果・評価 方向性等	・貸付制度に該当しない世帯（生活困窮や多額の負債がある等）からの相談が増えた。また、生活保護世帯からの相談も増えている。日野市関係部署と更なる連携・協力をし支援していく必要がある。					
事業内容	2. 関係機関との連携					
実績報告	1) 日野市					
	①生活福祉課 生活保護ケースワーカーに生活保護受給世帯に対する生活福祉資金貸付について説明した。 開催日 8/5（金）					
	②セーフティネットコールセンター 平成28年12月19日より事業開始となった「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金」について、連携方法について打合せを行った。 開催日 1/20（金）					
	2) 日野市民生・児童委員協議会 民生委員・児童委員生活福祉資金研修会（東京都社会福祉協議会主催）に出席した。					
	開催日	場所	内容			
2/15	たましんRISURUホール	・生活福祉資金貸付制度の概要 ・生活福祉資金貸付制度と民生委員・児童委員の役割				
実績報告	3) 生活福祉資金業務研究会ブロック会議 南多摩5市（稲城、多摩、町田、日野、八王子）によるブロック会議に出席、横の連携を図るとともに他市の状況を伺った。 開催日 12/16（金）					
	事業効果・評価 方向性等					
	・生活保護世帯からの相談が多かった。日野市生活福祉課及びセーフティネットコールセンターとの更なる連携が必要不可欠である。 ・今後も日野市等の関係機関と連携を図り、相談者にとってよりよい支援を実践していく。					
	事業内容					
	3. 日野市生活福祉資金貸付事業（償還業務のみ）					
実績報告	平成 21 年度を以って終了した日野市生活福祉資金貸付事業について、償還未済の借受人に対し償還請求を行った。					
	1) 償還状況					
		貸付件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額
	28年度	25件	24人	1,083,000円	25,000円	65,000円
	27年度	26件	25人	1,173,000円	105,000円	75,000円
事業効果・評価 方向性等	・借受人の現況調査や償還のお願い等を定期的に行った。					
	・借受人との連絡や近況確認を行いながら償還業務を継続的に行っていく。					
	・借受人の死去により、債権放棄手続き1件を行った。					

事業内容	4. 償還及び償還免除等の申請事務手続き																								
実績報告	1) 償還率 (当年度・償還期限内)																								
	<table><tr><td rowspan="2">貸付項目</td><td colspan="4">福祉費</td></tr><tr><td>更生資金</td><td>福祉資金</td><td>教育資金</td><td>緊急小口</td></tr><tr><td>償還率</td><td>100%</td><td>78.90%</td><td>90.77%</td><td>100%</td></tr><tr><td>貸付項目</td><td colspan="2">総合支援資金</td><td colspan="2">離職者支援資金</td></tr><tr><td>償還率</td><td colspan="2">57.06%</td><td colspan="2">100%</td></tr></table>	貸付項目	福祉費				更生資金	福祉資金	教育資金	緊急小口	償還率	100%	78.90%	90.77%	100%	貸付項目	総合支援資金		離職者支援資金		償還率	57.06%		100%	
	貸付項目		福祉費																						
		更生資金	福祉資金	教育資金	緊急小口																				
	償還率	100%	78.90%	90.77%	100%																				
	貸付項目	総合支援資金		離職者支援資金																					
	償還率	57.06%		100%																					
	2) 救済制度 7件 (前年度 4件)																								
	<table><tr><td>償還猶予</td><td>延滞利子免除</td><td>償還免除</td><td>東京都社会福祉協議会に事務移管</td></tr><tr><td>3件</td><td>2件</td><td>1件</td><td>1件</td></tr></table>	償還猶予	延滞利子免除	償還免除	東京都社会福祉協議会に事務移管	3件	2件	1件	1件																
	償還猶予	延滞利子免除	償還免除	東京都社会福祉協議会に事務移管																					
3件	2件	1件	1件																						
事業効果・評価 方向性等	・ 償還滞納者に督促状を郵送するだけでなく、電話連絡や訪問調査を行い償還を促している。																								
	・ 償還が難しい世帯については、東京都社会福祉協議会と相談しながら延滞利子免除や償還免除の手続きを行っている。																								

福祉サービス利用援助事業

事業名	地域福祉権利擁護事業																																
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）																																
財源内訳	受託金、利用料																																
担当係	権利擁護係																																
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																																
目的	認知症や障害により判断能力が十分でない方が、地域で安心して暮らしていくことをサポートする																																
事業内容	1. 地域福祉権利擁護事業																																
実績報告	1) 地域福祉権利擁護事業利用状況 認知症・知的障害・精神障害等により、必要な福祉サービスを自分で適切に選択・利用することや、日常的な金銭管理が不安な方に対して、福祉サービスの利用援助・日常金銭管理・書類等預かりサービスによる支援を行った。 <table><tr><td></td><td>相談・支援</td><td>新規契約</td><td>終了(解約)</td><td>年度末契約件数</td></tr><tr><td>28年度</td><td>1,695件</td><td>14件</td><td>15件</td><td></td></tr><tr><td>27年度</td><td>1,511件</td><td>13件</td><td>6件</td><td></td></tr></table>		相談・支援	新規契約	終了(解約)	年度末契約件数	28年度	1,695件	14件	15件		27年度	1,511件	13件	6件																		
		相談・支援	新規契約	終了(解約)	年度末契約件数																												
	28年度	1,695件	14件	15件																													
	27年度	1,511件	13件	6件																													
	2) 生活支援員連絡会 事務連絡、活動状況報告の他、利用者の支援にあたる生活支援員からの状況報告を受け、情報交換を行った。（生活支援員登録数22人） <table><tr><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td><td>開催日</td><td>参加者</td></tr><tr><td>4/21</td><td>9人</td><td>5/20</td><td>10人</td><td>6/17</td><td>7人</td><td>9/15</td><td>13人</td></tr><tr><td>10/20</td><td>13人</td><td>11/17</td><td>20人</td><td>12/15</td><td>23人</td><td>1/19</td><td>19人</td></tr><tr><td>2/16</td><td>20人</td><td>3/16</td><td>23人</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	4/21	9人	5/20	10人	6/17	7人	9/15	13人	10/20	13人	11/17	20人	12/15	23人	1/19	19人	2/16	20人	3/16	23人				
	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者																									
	4/21	9人	5/20	10人	6/17	7人	9/15	13人																									
	10/20	13人	11/17	20人	12/15	23人	1/19	19人																									
	2/16	20人	3/16	23人																													
	3) 生活支援員 研修参加状況 <table><tr><td>内容</td><td>主催</td><td>参加者</td></tr><tr><td>新任生活支援員研修</td><td rowspan="2">東京都社会福祉協議会</td><td>11人</td></tr><tr><td>現任生活支援員研修</td><td>1人</td></tr><tr><td>精神保健福祉基礎研修 他</td><td>多摩精神保健福祉総合センター</td><td>13人</td></tr><tr><td>最近の消費者被害の動向について</td><td rowspan="5">日野市社会福祉協議会</td><td>13人</td></tr><tr><td>ケアマネジャーの業務について</td><td>13人</td></tr><tr><td>地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について</td><td>23人</td></tr><tr><td>東京都多摩若年性認知症総合支援センターについて</td><td>20人</td></tr><tr><td>認知症サポーター養成講習</td><td>23人</td></tr></table>	内容	主催	参加者	新任生活支援員研修	東京都社会福祉協議会	11人	現任生活支援員研修	1人	精神保健福祉基礎研修 他	多摩精神保健福祉総合センター	13人	最近の消費者被害の動向について	日野市社会福祉協議会	13人	ケアマネジャーの業務について	13人	地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について	23人	東京都多摩若年性認知症総合支援センターについて	20人	認知症サポーター養成講習	23人										
内容	主催	参加者																															
新任生活支援員研修	東京都社会福祉協議会	11人																															
現任生活支援員研修		1人																															
精神保健福祉基礎研修 他	多摩精神保健福祉総合センター	13人																															
最近の消費者被害の動向について	日野市社会福祉協議会	13人																															
ケアマネジャーの業務について		13人																															
地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について		23人																															
東京都多摩若年性認知症総合支援センターについて		20人																															
認知症サポーター養成講習		23人																															

	4) 生活支援員募集のための事業説明会 認知症・知的障害・精神障害等で判断能力に支障がある方の直接の支援にあたる生活支援員の募集を2回実施。11人を採用した。 4回 (7/1, 7/7, 9/26, 10/5)
事業効果・評価 方向性等	・生活支援員の増員により、生活支援員連絡会や研修を充実させることができた。また、専門員が支援員業務である直接の支援に入る回数が減り、利用相談、新規契約のために準備、利用者のモニタリング、成年後見制度への移行などにも力を入れて行うことができたことから契約件数・解約件数が過去最高となった。

事業名	権利擁護センター日野				
事業形態	独自事業				
財源内訳	自主財源、利用料				
担当係	権利擁護係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	認知症や障害により判断能力に支障がある方、判断能力に支障はないが病弱・虚弱、障害等で日常生活が困難な方が地域で安心して暮らしていくことをサポートする。				
事業内容	1. 財産保全・管理サービス				
実績報告	1) 財産管理・保全サービス 身体障害や病弱・高齢等により外出が困難な方に対し、預貯金のお出し入れや日常生活に必要な各種手続き代行、書類預かりサービスを提供している。新規で相談があったもののうち、地域福祉権利擁護事業の対象となるものは権利擁護事業で対応している。				
		相談・援助	新規契約	終了(解約)	年度末契約件数
	28年度	40件	0件	0件	
	27年度	47件	0件	1件	
	2) 応急日常金銭管理 成年後見制度の申立から審判が下りるまでの間の応急支援として、行政からの依頼を受け、地域福祉権利擁護事業と同様のサービスを実施した。				
		相談・援助			
	28年度	157件			
	27年度	136件			
事業効果・評価 方向性等	・地域福祉権利擁護事業から成年後見制度の利用までの一貫した支援を行うことができた。				
事業内容	2. 成年後見制度における相談支援と親族後見人等のサポート				
実績報告	判断能力に支障のある方の親や子等の親族、行政や地域包括支援センター等の関係機関からの相談を受け、成年後見制度の説明、申立支援、専門職団体の紹介等を行い、成年後見制度の利用支援を行った。				
	28年度	254件			
	27年度	248件			
事業効果・評価 方向性等	・成年後見制度の相談機関として、行政、包括支援センター、ケアマネ等の関係機関からの相談が増えているとともに、市役所に相談に行った市民が、行政の窓口で「権利擁護センター」を紹介され当センターに相談にくるというケースが増えてきた。				

事業内容	3. 市民後見人の養成と後見監督の実施						
実績報告	1) 養成講習修了者の登録と候補者の推薦 平成22年度に当会で実施した『市民後見人養成講習』の修了者と、当会、地域福祉権利擁護事業の生活支援員のうち、都の開催した社会貢献型後見人養成講習や他社協の実施した同様の講座を受講・修了した方の中から希望者を募って『後見人候補者』として登録し、関係各機関等から市民後見人就任要請を受けた時に候補者推薦ができる体制を整えた。						
	<table><tr><td>28年度</td><td>6名</td></tr><tr><td>27年度</td><td>8名</td></tr><tr><td>26年度</td><td>12名</td></tr></table>	28年度	6名	27年度	8名	26年度	12名
	28年度	6名					
	27年度	8名					
	26年度	12名					
2) ハ王子社協市民後見人養成講習への受入れ依頼 平成26年度までは12名いた『後見人候補登録者』が、養成講習終了後6年を経て27年度以降激減したため、応急の措置として、現在活動中の生活支援員から希望者を募り、ハ王子社協で開催する市民後見人養成講習への受け入れを依頼した。							
平成29年1月から2月に開催された同講座を、28年度新規に採用した生活支援員2名が受講した。現在は生活支援員として対人援助の実務経験を積みながら、29年度から『後見人候補者』として登録していただくこととなった。							
3) 後見人の受任と法人後見監督の実施 後見人になってくれる身寄りがなく、行政がセーフティネットとして用意している法人後見受任機関の利用対象にもならない方に対し、市民後見人に受任してもらうことにより、必要な介護サービスや制度を適切に利用することができた。							
	また、法人後見監督としては初めて、被後見人の死亡があり、市民後見人が行う死後事務や相続手続き等の支援を行った。						
	当会の市民後見人等候補者の中から受任した市民後見人と、成年後見に関するNPO法人の所属メンバーが市民後見人として受任しているケースについて、当会が法人として後見監督を実施している。						
	<table><tr><td>市民後見受任者</td><td>後見監督受任件数</td><td>申立手続中のもの</td></tr><tr><td>3人</td><td>4件</td><td>0件</td></tr></table>	市民後見受任者	後見監督受任件数	申立手続中のもの	3人	4件	0件
市民後見受任者	後見監督受任件数	申立手続中のもの					
3人	4件	0件					
事業効果・評価 方向性等	- 支援してくれる身寄りがなく、行政のセーフティネットの利用対象にもならない方について、市民後見人に就任してもらうことにより必要な介護サービスや制度を適切に利用することができた。 - 就任した市民後見人から3か月ごとの定期報告を受け、適切な後見業務を行っていることを監督した。 - 市民後見人候補者補充を目的に、市民後見人養成講習を市内NPO法人等との協働で実施する。						

事業内容	4. 事業・制度広報周知			
実績報告	1) 講演会			
	開催日	場所	内容	参加者
	11/6	多摩平交流センター	「認知症になっても自分のことは自分で決めたい～成年後見利用促進法で、私たちの生活は?地域はどう変わる?」 講師 新井誠氏 (日本成年後見法学会理事長) (中央大学大学院法学研究科 委員長)	60人
	2) 出張説明会			
	地域福祉権利擁護事業・成年後見制度の周知を図るため他機関・団体への事業説明等を実施した。			
	開催日	相手先・出張先		
	4/8	高齢福祉課 地域包括支援センター新任職員		
	5/27	日野市消費生活相談センター		
	6/27	当会主催 活動協力者説明会		
	7/12	日野市自立支援協議会相談支援部会		
	8/4	あったかい手とて		
3) 成年後見制度説明会の開催				
成年後見制度の周知・活用を図るため、日野市福祉政策課・高齢福祉課等と共催で制度説明会を実施した。				
	開催日	参加者	相談者	
	第1回	10/7	22人	1人
	第2回	10/14	21人	3人
	第3回	10/22	14人	1人
	第4回	10/29	16人	0人
	第5回	11/4	12人	1人
※講師				
第1・3回 廣川理恵子氏（日野社会福祉士会）				
第2・4回 本村雄一氏（日野社会福祉士会）				
第5回 井藤智子氏				
(成年後見センター・リーガルサポート東京支部長)				
事業効果・評価 方向性等	・講演会や説明会を通して、市民に直接周知できた。また、他機関との連携が強化できた。			
事業内容	5. 他機関との連携強化			
実績報告	1) 運営委員会			
	東京三弁護士会多摩支部、東京司法書士会三多摩支部をはじめ、地域包括支援センターや関係行政機関等に協力を求めて運営委員会を設置し、センターの事業運営や複雑・専門化する個別の案件についての対応を図るとともに、後見監督、財産保全・管理、応急金銭管理等についての検討を行った。			
	4回開催（5/24、8/31、11/29、2/28）			

	2) 運営委員構成 ・ 医師 ・ 弁護士（東京三弁護士会多摩支部） ・ 司法書士（東京司法書士会 三多摩支会） ・ 社会福祉士（日野社会福祉士会） ・ 精神保健福祉士（地域活動支援センター） ・ 社会福祉士（社会福祉法人 夢ふうせん） ・ 福祉政策課 ・ 日野市社会福祉協議会 理事 3) 成年後見関係機関ネットワーク連絡会 成年後見制度に関する相談・支援を行う地域包括支援センターや専門職後見人等と事例検討を通して、課題の共有や情報交換を行った。 <table><tr><th>開催日</th><th>参加者</th><th>内容</th></tr><tr><td>10/22</td><td>49人</td><td>①利用促進法・円滑化法の施行で、実務はどう変わるのか ②日野市成年後見制度利用支援に係る費用助成について ③情報交換</td></tr><tr><td>2/20</td><td>47人</td><td>被後見人等の交通事故～被害者にも加害者にもなり得る。その時、後見人等はどうする？</td></tr></table> 4) 関係機関の連絡会等への参加 <table><tr><th>開催日</th><th>内 容</th></tr><tr><td>5/31・2/8</td><td>成年後見利用者支援区市町村連絡会</td></tr><tr><td>7/12・9/13 11/22</td><td>日野市自立支援協議会相談支援部会</td></tr><tr><td>11/2</td><td>成年後見推進機関テーマ別研究会議</td></tr><tr><td>11/4</td><td>多摩地区高齢者・障害者福祉担当課、社会福祉協議会と法テラス多摩との協議会</td></tr><tr><td>1/12</td><td>子ども家庭支援センター地域ネットワーク会議</td></tr><tr><td>2/15</td><td>東京家庭裁判所懇談会</td></tr><tr><td>3/16</td><td>東京三弁護士会多摩支部・多摩地区社会福祉協議会懇談会</td></tr></table>	開催日	参加者	内容	10/22	49人	①利用促進法・円滑化法の施行で、実務はどう変わるのか ②日野市成年後見制度利用支援に係る費用助成について ③情報交換	2/20	47人	被後見人等の交通事故～被害者にも加害者にもなり得る。その時、後見人等はどうする？	開催日	内 容	5/31・2/8	成年後見利用者支援区市町村連絡会	7/12・9/13 11/22	日野市自立支援協議会相談支援部会	11/2	成年後見推進機関テーマ別研究会議	11/4	多摩地区高齢者・障害者福祉担当課、社会福祉協議会と法テラス多摩との協議会	1/12	子ども家庭支援センター地域ネットワーク会議	2/15	東京家庭裁判所懇談会	3/16	東京三弁護士会多摩支部・多摩地区社会福祉協議会懇談会
開催日	参加者	内容																								
10/22	49人	①利用促進法・円滑化法の施行で、実務はどう変わるのか ②日野市成年後見制度利用支援に係る費用助成について ③情報交換																								
2/20	47人	被後見人等の交通事故～被害者にも加害者にもなり得る。その時、後見人等はどうする？																								
開催日	内 容																									
5/31・2/8	成年後見利用者支援区市町村連絡会																									
7/12・9/13 11/22	日野市自立支援協議会相談支援部会																									
11/2	成年後見推進機関テーマ別研究会議																									
11/4	多摩地区高齢者・障害者福祉担当課、社会福祉協議会と法テラス多摩との協議会																									
1/12	子ども家庭支援センター地域ネットワーク会議																									
2/15	東京家庭裁判所懇談会																									
3/16	東京三弁護士会多摩支部・多摩地区社会福祉協議会懇談会																									
事業効果・評価 方向性等	・ 成年後見に関係する各種の専門職の顔の見える関係づくりを行うことにより、虐待が疑われるケースや適切な扶養を求めたいケース等、福祉的な課題があつて後見制度の活用による支援が必要なケースへの理解が深まった。 ・ 権利擁護センターの活動を周知することができた。																									

福祉人材育成事業

事業名	手話通訳者研修事業		
事業形態	受託事業（日野市）		
財源内訳	受託金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	日野市内で活動する手話通訳者の技能の習得及びレベルアップを目指す。		
事業内容	1. 登録手話通訳者の資質向上		
実績報告	現任の日野市登録手話通訳者を対象に、通訳者としてのスキルアップを目的とした研修を実施した。		
	開催日	内 容	参加者
	8/25	設置通訳について（都内各地域の状況） 講師：東京都手話通訳問題研究会 専任班	9人
	10/22	通訳のあり方講座（動き方、配慮、援助技術等） 講師：矢野朱美 氏 （東京手話通訳等派遣センター）	9人
	10/29	手話通訳技術講座（聞きとり表現を中心に） 講師：田原直幸 氏 （東京手話通訳等派遣センター）	9人
事業効果・評価 方向性等	・28 年度より障害者差別解消法に基づき日野市において設置通訳が開始したことに合わせ、他区市の設置通訳者の現状について学んだ。設置手話通訳者の役割と課題について理解が進んだ。また、東京手話通訳等派遣センター職員を講師に招き、手話通訳活動において必要な技術等を学んだ。 ・今後も通訳者の技能習得及びレベルアップを図ることができる研修プログラムを組む。		

事業名	手話講習会						
事業形態	受託事業（日野市）						
財源内訳	受託金						
担当係	総務係						
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ						
目的	手話および聴覚障害者に関する基本的な知識と技術を習得することを目指し、健聴者と聴覚障害者との相互理解を深め、手話全般に関する啓発および普及を図る。また、将来に亘り日野市登録手話通訳者を増やす。						
事業内容	1. 手話講習会の実施						
実績報告	手話全般に関する啓発及び普及を図ることを目的としたコミュニケーションコース（入門、基礎クラス）、聴覚障害者の自立と社会参加を促進するための専門的知識と技術の習得を目的とした通訳養成コース（基本、応用・実践クラス）を開講した。						
	1) 実績						
	コース	クラス		回数	受講者数	修了者数	皆勤賞
	コミュニケーション	入門	昼	30回	26人	26人	10人
			夜		25人	14人	5人
		基礎	昼	33回	30人	27人	5人
			夜		36人	32人	7人
	通訳養成	基本	昼	33回	10人	9人	0人
			夜		19人	14人	3人
		応用実践		33回	11人	0人	1人
	28年度				157人	122人	31人
	27年度				158人	128人	30人
	※通訳養成コース応用実践クラスにおける修了者数は、「手話通訳者全国統一試験」に合格した者を表す。						
	2) 通訳養成コース受講希望者に対する面談の実施						
	開催日 4/26（火）10：00～12：00/19：00～21：00						
クラス	受講希望者数		受講決定者数		受講却下		
基本昼	12人		12人		0人		
基本夜	25人		19人		6人		
応用実践	17人		11人		6人		
※受講却下の方については、他の手話講習会やサークル活動への参加を促した。							
3) 講演会							
開催日	内 容					クラス	
10/25	「地域で活動する手話通訳者を目指して」 講師：河野 悠子 氏（手話通訳士）					基本(昼夜)	
10/26	「楽しく手話を学ぶには」 講師：原田洋行 氏 (東京手話通訳等派遣センター)					入門(昼夜)	

	開催日	内 容	クラス
	11/1	「仕事や日常生活、ろうあ運動など」 講師：荒井康善 氏（東京都聴覚障害者連盟）	応用実践
	11/9	「手話を学ぶにあたって」 講師：飛山将紀 氏 （東京手話通訳等派遣センター）	基礎(昼夜)
	3/1	「手話を学ぶということとは？」 講師：高井洋 氏 （東京手話通訳等派遣センター）	入門(昼夜)
	4) ミニ講演会 28 度より日野市在住の当事者をゲストとした講演会等を実施した。		
	開催日	内容	クラス
	7/26	「全国ろうあ者大会 in とくしま」の報告 ゲスト：有山一博 氏	基本(昼夜)
	8/24	「障害者差別解消法ができてから…」 ゲスト：田原直幸 氏	基礎(夜)
	9/7	「突然耳が聞こえなくなってしまう…私の人生」 ゲスト：小滝 文 氏	基礎(昼)
	2/1	交流会 ゲスト：川口あかね 氏 森田由紀恵 氏 吉田真弓 氏	入門 (昼)
	2/14	「聴覚障害者と災害」 ゲスト：有山一博 氏	応用実践
事業効果・評価 方向性等	5) 開講式 開催日 5/18 (水) 場 所 日野市市民の森ふれあいホール		
	6) 閉講式 開催日 3/22 (水) 場 所 日野市市民の森ふれあいホール		
	・カリキュラム変更後初めての手話講習会だった。様々なレベルのクラスが一つになり授業を進めていく中、講師助手による指導徹底の難しさが課題となった。 ・平成 28 年度は手話通訳者全国統一試験合格者がいなかった。日野市登録手話通訳者として活動できる人材の養成は急務の課題である。 ・従来の講演会に加え、日野市在住の当事者をゲストとしたミニ講演会等を実施した。講師助手以外の聴覚障害者が表す手話を見慣れていない受講生にとって、多くの手話表現を知ることができる機会となった。 ・通訳養成コース受講希望者に対する面談を導入した。選考方法等の更なる整理は必要であるが、手話レベルの確認以外に通訳者として活動していく意思の有無を確認することができた。今後も継続していく。		

事業内容	2. 講師・助手会議等の開催
実績報告	手話講習会を実施するにあたり、講師助手会議及び検討委員との次年度検討会を開催した。 1) 講師助手会議 2回開催 (4/27, 3/9) 2) 次年度検討会 3回開催 (7/25, 10/6, 2/9)
事業効果・評価 方向性等	・講師助手会議については例年 2 回開催しているが、講師より前期終了後に授業の進捗状況等の報告をしたいという要望を受け、今年度より 3 回開催する。 ・次年度検討会において、通訳養成コース面談における選考方法や若い層の受講生を増やすための保育、受講回数等について協議を重ねた。

事業名	福祉のしごと相談・面接会					
事業形態	共催事業（東京都福祉人材センター）					
財源内訳	歳末たすけあい配分金					
担当係	総務係					
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ					
目的	介護職をはじめとする日野市の福祉人材の確保・開拓を図る。					
事業内容	1. 日野市福祉のしごと相談・面接会（地域密着型面接会）					
実績報告	1）共催 東京都福祉人材センター（多摩支所） ハローワークハ王子					
	2）実績					
	開催日	場所	参加事業所	来場者(就職者)		
	10/7	福祉支援センター	13社	44人（5人）		
			内訳 高齢 7社 障害 4社 保育 2社			
10/8	福祉支援センター	11社	59人（1人）			
		内訳 高齢 5社 障害 4社 保育 2社				
事業効果・評価 方向性等	・昨年度に引き続きハローワークハ王子・東京都福祉人材センターと共催で開催し、就労者数が昨年より上回る結果となった。 ・出展事業者より相談会の開催回数や市内他地域での開催を増やしてほしいとの要望がある。 ・日野市の福祉人材確保のため、市内外を問わず事業の広報周知を高めていく必要がある。					
事業内容	2. “就労のための” 日野市福祉のしごと見学会					
実績報告	市内福祉事業者の人材確保と福祉のしごとへの関心を高めるため、日野市内福祉事業者をバスで回るツアー型見学会を実施した。					
	1）共催 東京都福祉人材センター多摩支所・ハローワークハ王子					
	2）福祉のしごと見学会					
	開催日	見学施設	参加者	就職者		
	1/11	①介護老人保健施設カトレア ②小規模多機能ホームさかえまち ③生活介護工房夢ふうせん	14人	2人		
1/17		①ディーセントワーク平山台 ②特別養護老人ホームラペ日野 ③高齢者向け住宅風のガーデンひの			11人	2人

事業効果・評価 方向性など	・本年度より日野市介護人材育成事業の一環として行った。昨年度同様、ハローワークハ王子（ハートフルワークコーナー）と東京都福祉人材センターとの共催で実施した。両日ともに市内外問わず参加者が集まった。参加者の年齢層は高めであった。 ・参加者からは、団体での見学できる事や複数の施設が見学できる事などが好評だった。就職者数も前年度を上回ることができた。 ・受入施設からは見学会のほか、職場体験が合同説明会などの人材育成、確保する事業の継続・実施を望む声が多数寄せられている。
------------------	--

事業名	介護人材育成研修事業	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	在宅サービス係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	市内在住・在勤の高齢・障害分野の従事者を対象にした研修会及び講演会を実施し、スキルアップと定着支援を行うとともに、人材が不足する福祉施設を見学し、就労相談・人材確保の機会とする。	
事業内容	1. 講演会の実施	
実績報告	一般参加も含めた幅広い対象に向けて、高齢者福祉や介護に関する講演会を開催した。	
	開催日	内容
	7/2	寝たきりにしない、させないために！ “思い”に寄り添う介護術
参加者	53人	
事業効果・評価 方向性等	・講師より、介護技術の向上を図るための第一歩として、自身が関わる相手を知ることの大切さと向き合うための姿勢について話があり、その上で活動を支援するための身体介助の技術を学ぶことができたため、専門職だけでなく家族介護者にも理解していただける内容となった。	

事業内容	2. 福祉施設・事業従事者向けスキルアップ研修会の実施		
実績報告	1) 施設職員研修		
	開催日	内容	参加者
	7/2	介護実技研修	55人
	10/1	介護実技研修	28人
	10/1	介護実技研修	27人
	2/13	認知症にとらわれないコミュニケーション術	35人
	3/9	認知症の人も楽しめる！レクリエーション2017	35人
	※7/2 の参加者数は、訪問介護員研修と重複。		
	2) 訪問介護員研修		
	開催日	内容	参加者
	7/2	介護実技研修	55人
	8/26	介護保険でできること、できないこと	27人
	9/10	介護実技研修	35人
	9/10	介護実技研修	36人
	10/27	医学の基礎知識	29人
	※7/2 の参加者数は、施設職員研修と重複。		
	3) 介護支援専門員研修		
開催日	内容	参加者	
9/12	介護保険でできること、できないこと	69人	
10/27	ケアプラン	75人	
2/13	認知症ケア“理由を探る”レッスン	55人	
事業効果・評価 方向性等	1) 施設職員研修 重点的に行った介護実技について、研修講師を通じて自主訓練に励む参加者が生まれた。また、事業所に講師を招き、施設全体で取り組むきっかけとした参加者もあった。認知症のある利用者と接する機会が多い職種だけに、「認知症にとらわれないコミュニケーション術」ではコミュニケーションの取り方について新たな視点を得る機会となった。		
	2) 訪問介護員研修 ケアマネジャーとサービス提供責任者に向けて実施した「介護保険でできること、できないこと」の研修で、参加者からチームアプローチによるより良い支援のため今後ケアマネジャーと合同でのアセスメント研修を実施してほしいというさらなる希望があった。		
	3) 介護支援専門員研修 平成 25 年度からの過去 3 年間と比較し、参加者数平均が最も高い年度となった。利用者とのコミュニケーション、アセスメント、プランニングに新たな視点を取り入れてもらうことができた。		

事業名	実習生の受入		
事業形態	独自事業		
財源内訳	手数料		
担当係	総務係・地域支援係・ボランティア係・権利擁護係・在宅サービス係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	将来の福祉人材の育成のため、社会福祉士を目指す学生を実習生として受入、専門職としての指導を行う。		
事業内容	1. 実習生の受入		
実績報告	大学等で社会福祉士取得を目指している学生に、社会福祉協議会における社会福祉士にとって必要な知識や技術の指導を行った。 実習総括のため学生による活動発表・報告会を実施した。 1) 概要および内容		
	学校名	期間（時間）	人数
	明星大学人文学部福祉実践学科	9/26 -10/2 (180時間)	1人
	日本女子大学人間社会学部社会福祉学科	9/26 -10/2 (180時間)	1人
	大妻女子大学人間福祉学部人間福祉学科	2/6 -3/15 (180時間)	1人
事業効果・評価 方向性等	・社会福祉協議会の具体的な活動や地域との関わり、社会福祉協議会内における社会福祉士としての役割について学生に理解を深める機会となっている。 ・実習生の実習目標の達成度・成果を確認するため、報告会を実施した。		

法人運営事業

事業名	組織運営事業		
事業形態	独自事業、補助事業		
財源内訳	補助金、広告料、手数料、受入研修費、利息、繰入金、繰越金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	各種法令や諸規程を遵守し、住民参加による透明性の高い法人組織として健全な運営を図る。 法人内の係間の調整や事務局管理を行い、効果的かつ効率的な経営が行われるよう努める。		
事業内容	1. 理事会・評議員会・経営会議の開催、監事監査の実施		
実績報告	1) 理事会		
		実施日	内容
	第1回	5/30	○報告事項 平成28年度主要事業について ○審議事項 役員の交代について 平成27年度事業報告・決算について
	第2回	11/28	○報告事項 事務局規程の改正について 平成28年度上半期事業報告・決算見込みについて ○審議事項 第一次補正予算の報告承認について 平成28年度 第二次補正予算(案)について 社会福祉法改正に伴う定款(案)の一部改正について 評議員選任・解任委員会細則(案)の制定について 評議員選出規程(案)の制定について 役員選出規程(案)の制定について 評議員選任解任委員会の委員の選任(案)について 育児・介護休業規程の一部改正(案)について 慶弔規程の一部改正(案)について
	第3回	2/20	○報告事項 定款変更認可の報告について 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について 評議員の選出規程の一部改正について ○審議事項 第三次補正予算の報告承認について 評議員候補者の推薦について
	第4回	3/27	○報告事項 評議員の決定について ○審議事項 第四次補正予算の承認について

		定款の一部改正について 役員等報酬規程の制定について 契約職員就業規程の一部改正について パートタイム職員就業規程の一部改正について 在宅高齢者ケアサービス運営規程の一部改正について 平成29年度 事業計画（案）について 平成29年度 予算（案）について
2) 評議員会		
	実施日	内容
第1回	5/30	○報告事項 平成28年度主要事業について ○議案事項 役員の交代について 平成27年度事業報告・決算について
第2回	11/28	○報告事項 事務局規程の改正について 平成28年度上半期事業報告・決算見込みについて ○議案事項 第一次補正予算の報告承認について 平成28年度 第二次補正予算（案）について 社会福祉法改正に伴う定款（案）の一部改正について 評議員選任・解任委員会細則（案）の制定について 評議員選出規程（案）の制定について 役員選出規程（案）の制定について 評議員選任・解任委員会の委員の選任（案）について 育児・介護休業規程の一部改正（案）について 慶弔規程の一部改正（案）について
第3回	3/27	○報告事項 定款変更認可の報告について 評議員選任解任委員会運営細則の一部改正について 評議員の選出規程の一部改正について 評議員の決定について ○議案事項 第三次補正予算の報告承認について 平成28年度 第四次補正予算の承認について 定款の一部改正について 役員等報酬規程の制定について 契約職員就業規程の一部改正について パートタイム職員就業規程の一部改正について 在宅高齢者ケアサービス運営規程一部改正について 平成29年度 事業計画（案）について 平成29年度 予算（案）について

	3) 経営会議 11 回開催 4) 内部監査（監査） ①平成 27 年度決算監査 5/23（月） ②平成 28 年度中間決算監査 10/28（金）									
事業内容	2. 福祉サービスに関する苦情申出窓口									
実績報告	1) 苦情解決第三者委員 (任期 平成 27 年 6 月 1 日～平成 29 年 5 月 31 日) 林幹高 氏（NPO 法人福祉カフェテリア理事長） 安西清 氏（保護司） 渡辺明 氏（日野市民生児童委員） 2) 苦情申立件数 なし									
事業内容	3. 法人管理運営（定款）									
実績報告	1) 定款変更 理事会・評議員会の承認を得て、定款の一部改正を行った。 <table><tr><td></td><td>変更事由</td><td>所轄庁の認可日</td></tr><tr><td>1</td><td>社会福祉法の改正に伴う変更</td><td>平成 29 年 1 月 6 日</td></tr><tr><td>2</td><td>日野市立湯沢福祉センター指定管 理者契約期間満了に伴う事業廃止</td><td>申請中</td></tr></table>		変更事由	所轄庁の認可日	1	社会福祉法の改正に伴う変更	平成 29 年 1 月 6 日	2	日野市立湯沢福祉センター指定管 理者契約期間満了に伴う事業廃止	申請中
	変更事由	所轄庁の認可日								
1	社会福祉法の改正に伴う変更	平成 29 年 1 月 6 日								
2	日野市立湯沢福祉センター指定管 理者契約期間満了に伴う事業廃止	申請中								
事業内容	4. 地域福祉活動計画推進会議の開催									
実績報告	平成 27 年 3 月策定の第四次日野市地域福祉活動計画（5 ヶ年）推進のため、策定委員ならびに福祉政策課から委員を選出し、推進会議を開催した。 1) 地域福祉活動計画推進委員 委員構成 ・日野市商工会 ・実践女子大学 ・権利擁護センター日野 ・南平ふれあい協議会 ・工房夢ふうせん ・地域包括支援センターすてっぷ ・日野市民生・児童委員協議会 ・日野市健康福祉部福祉政策課 2) 内容 開催日 11/1（火） 内 容 ・地域福祉活動計画の広報DVD視聴 ・進捗状況報告 ・3つの視点 「とともに見守る・とともにつくる・ともにそだつ」 ・委員からの意見聴取・課題検証									

事業効果・評価 方向性等	・第4次活動計画2年目を迎え、計画の進行状況について、計画通り推進されている事業、方向性を確認している段階の事業等の確認をし、委員に報告をした。 ・次年度は、進捗状況の評価の年と位置付けているため、上半期・下半期の2回実施することを予定している。 ・社会福祉法の改正に伴い、法人組織の運営の在り方、地域における公益的な取り組み等の責務についても計画に反映できるよう見直しを図っていく。						
	5. 日野市内社会福祉法人ネットワーク化に向けた検討会の開催						
実績報告	社会福祉法の改正（平成28年3月制定）により社会福祉法人の責務として位置付けられた「地域公益活動」等の情報共有を図るため、市内社会福祉法人の高齢・障害・保育分野の代表者と日野市内社会福祉法人連絡会（仮称）準備会を実施した。 1）準備会委員 委員構成 ・（社福）東京緑新会 多摩療護園 ・（社福）夢ふうせん 工房夢ふうせん ・（社福）吹上会 吹上保育園 ・（社福）至誠学舎立川 至誠第二保育園 ・（社福）友遊の家 友遊ケアセンター ・（社福）マザアス マザアス日野 ・（社福）日野市社会福祉協議会 2）日野市内社会福祉法人向けにアンケート実施 市内社会福祉法人の社会福祉法改正における進捗状況ならびに現状把握のため、「社会福祉法人制度改革ならびに地域公益活動に関するアンケート」を実施した。 実施日 4/26～5/20 対 象 日野市内社会福祉法人30法人 回答率 23法人（24施設） 3）準備会の開催 <table border="1" data-bbox="486 1404 1436 1787"> <thead> <tr> <th>日程</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/20</td><td> 1. アンケート結果を受けて 2. 検討事項 社会福祉法人制度改革対応セミナーの実施について 今後のネットワーク化に向けての方向性について </td></tr> <tr> <td>10/19</td><td> 1. 社会福祉法制度改革対応セミナーの振り返り 2. 検討事項 日野市内社会福祉法人ネットワークの立ち上げについて </td></tr> </tbody> </table>	日程	内容	7/20	1. アンケート結果を受けて 2. 検討事項 社会福祉法人制度改革対応セミナーの実施について 今後のネットワーク化に向けての方向性について	10/19	1. 社会福祉法制度改革対応セミナーの振り返り 2. 検討事項 日野市内社会福祉法人ネットワークの立ち上げについて
日程	内容						
7/20	1. アンケート結果を受けて 2. 検討事項 社会福祉法人制度改革対応セミナーの実施について 今後のネットワーク化に向けての方向性について						
10/19	1. 社会福祉法制度改革対応セミナーの振り返り 2. 検討事項 日野市内社会福祉法人ネットワークの立ち上げについて						

	4) 社会福祉法人制度改革対応セミナー＆情報交換会 市内社会福祉法人向けに社会福祉法改正についてのセミナーならびに情報交換会を実施した。 実施日 9/5（月）13：30～17：00 場所 中央福祉センター集会室 内容 第一部 社会福祉法人制度改革セミナー 「平成28年度に対応すべき実務ポイント」 講師 社会福祉法人千葉県福祉援護会 常務理事 武石直人 氏 第二部 情報交換会 参加者数 28人（17法人） ワザバー 日野市福祉政策課・東京都社会福祉協議会地域福祉部									
事業効果・評価 方向性等	・都内 40 地区の社会福祉協議会で「社会福祉法人のネットワーク化」に向け動き始めている。日野市では、各分野から各 2 人と社協を代表として選出、平成 27 年 3 月に第 1 回準備会を実施した。 ・第 1 回準備会での意見を受け、市内社会福祉法人 30 法人にアンケートの実施した。 ・アンケート結果を受けて、準備会では市内社会福祉法人向けに「社会福祉法人制度改革対応セミナー＆情報交換会」を実施した。									
	6. 社会福祉協議会会員会費の拡充（自己財源の確保）									
実績報告	地域福祉活動のための財源確保として、市民をはじめ自治会、民生委員、赤十字奉仕団、企業等の関係機関へ協力を呼びかけ、併せて協力依頼とともに事業案内を行うことにより、地域福祉活動の普及・推進に努めた。 1) 会費実績 <table><tr><td></td><td>合計額（件数）</td><td>内訳</td></tr><tr><td>28 年度</td><td>3,761,437円（940件）</td><td>個人 577,600円（453件） 特別 519,000円（146件） 団体2,664,837円（341件）</td></tr><tr><td>27 年度</td><td>3,933,700円（961件）</td><td>賛助 572,500円（462件） 特別 561,000円（156件） 団体1,925,000円（233件） 一般 875,200円（110件）</td></tr></table>		合計額（件数）	内訳	28 年度	3,761,437円（940件）	個人 577,600円（453件） 特別 519,000円（146件） 団体2,664,837円（341件）	27 年度	3,933,700円（961件）	賛助 572,500円（462件） 特別 561,000円（156件） 団体1,925,000円（233件） 一般 875,200円（110件）
		合計額（件数）	内訳							
	28 年度	3,761,437円（940件）	個人 577,600円（453件） 特別 519,000円（146件） 団体2,664,837円（341件）							
	27 年度	3,933,700円（961件）	賛助 572,500円（462件） 特別 561,000円（156件） 団体1,925,000円（233件） 一般 875,200円（110件）							
		2) 寄附金実績 <table><tr><td></td><td>合計額（件数）</td></tr><tr><td>28 年度</td><td>経常区分 3,365,944円（94件）</td></tr><tr><td>27 年度</td><td>経常区分 3,295,947円（107件） 施設区分 200,000円（ 1件）</td></tr></table>		合計額（件数）	28 年度	経常区分 3,365,944円（94件）	27 年度	経常区分 3,295,947円（107件） 施設区分 200,000円（ 1件）		
	合計額（件数）									
28 年度	経常区分 3,365,944円（94件）									
27 年度	経常区分 3,295,947円（107件） 施設区分 200,000円（ 1件）									

事業効果・評価 方向性等	・会員会費の実績は年々減少傾向にあるため、地域（市民）へ社会福祉協議会活動の広報周知を工夫する等、会員増強に努めていく。 ・入会方法や会員制度の理解を深めるため、平成28年3月に会員規程を改正し、会員種類や事務手続きを分かりやすく行えるように改善を図った。		
事業内容	7. 福祉のつどい&ボランティア交流会		
実績報告	市内の福祉団体から推薦された方やボランティア活動等を通じて地域福祉の発展に貢献された方が集う感謝の催し「福祉のつどい」を開催した。		
	28年度は、午前の部「表彰」午後の部「ボランティア交流会」とし、ボランティア交流会との共同企画で実施した。脳性麻痺患者ながらプロバイオリニストとして活躍する式町水晶氏によるゲストコンサートも行った。		
	1) 表彰審議委員会		
	日程	内容	場所
	2/13	・推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 ・ボランティア交流会との共催企画として（プログラム・スケジュールの確認） 出席 理事3人・事務局	中央福祉センター
実績報告	2) 実績		
	日程	内容	場所
	3/12	第一部 表彰式 受賞者 30人 (内訳) ・表彰状15人 ・感謝状15人 地域団体の催し あおいとり日野（合唱） みなみが丘友遊倶楽部（コーラス） 記念コンサート 式町水晶氏コンサート 第二部 ボランティア交流会 活動報告 (日野第一中学校ボランティアについて) 交流タイム お楽しみ抽選会 みんなで歌おう♪	イオンモール多摩平の森イオンホール
	3) 受賞（表彰）候補者の推薦団体		
	日野市老人クラブ連合会 日野市赤十字奉仕団 日野市身体障害者福祉協会 社会福祉法人東京緑新会 社会福祉法人たんぽぽの会 NPO 法人一穂会 日野市社会福祉協議会（日野市ボランティア・センター）		
事業効果・評価 方向性等	・様々な形で地域福祉の向上や社会貢献をされた方々に感謝を表す機会として実施している。今年は、ボランティア交流会と共同開催として、日野第一中学校のボランティア活動報告会を行う等、当日は中学生から高齢者、障害者など地域で活動する様々な方々に集まっていたき盛大に開催することができた。		

事業内容	8. 職員の資質向上
実績報告	職員の資質向上を図るため、関係機関・団体主催の研修や講座等を受講した。 ■総務係 ・法人協時局セミナー ・社会福祉法改正における勉強会 ・社会福祉法の一部改正に関する勉強会 ・東京都地域公益活動推進協議会設立記念セミナー ・ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業説明会 ・手話通訳派遣コーディネート担当者研修 ・民事訴訟の手続きについて ・生活福祉資金テーマ別研修会 ・会長・役員・局長等研修会 ■地域支援係 ・地域コーディネート力！向上セミナー ・東社協地域福祉コーディネーター研修 ・地域福祉コーディネーター養成研修 ・改正介護保険制度関連学習会 ・生活支援コーディネーター研究協議会 ・生活支援コーディネーター養成研修 ・若者の自立支援に係る区市町村職員向け研修 ■ボランティア係 ・災害ボランティアコーディネーター養成講座 ■権利擁護係 ・精神保健福祉基礎研修 ・心神喪失者等医療観察法研修 ・対人援助技術研修 ・業務担当者研修 ・養護者による高齢者虐待対応研修 ・専門員研修 ・就労支援研修 ・思春期問題研修 ・地域移行支援・地域定着支援研修 ・オープンダイアログ研修 ・多摩総合精神保健福祉センター研修 ■在宅サービス係 ・改正介護保険制度関連学習会 ・アウトリーチ支援研修 ・東京都社会福祉協議会 在宅福祉サービス部会 コーディネーター研修 及び学習会 ・認知行動療法研修 ・「福祉サービスにおける契約の理解とリスクマネジメント、苦情解決について」

実績報告	■しごとサポートひの ・アクティブシニア就業支援センター職員実務研修 ・多様な働き方企画支援研修 ■その他 ・南多摩ブロック社協職員の会研修 ・東京都内社会福祉協議会職員連絡会研修
事業内容	8. 職員派遣
実績報告	関係機関・団体主催の研修や講座等へ、講師や事例報告者として職員を派遣した。 ・ボランティア・市民活動推進機関のあり方検討会 ・福祉の仕事就職フォーラム ・首都大学東京ボランティアセンター設立1周年記念シンポジウム ・東京ボランティア・市民活動センター新任研修 ・三菱東京UFJ銀行新人研修 ・中央大学公務員になりたい人のためのボランティア講座
事業内容	9. 協議会・連絡会等の参加
実績報告	1) 会長 ・南多摩保健所協議会 ・(社福) 東京都共同募金会評議員会 ・(社福) 東京緑新会理事会・評議員会 ・(社福) おおぞら理事会・評議員会 ・ふだん着でCO2をへらそう実行委員会 ・日野市社会教育センター運営委員会 2) 職員による委員会参加 ・日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会(事務局長) ・第3期日野市地域福祉計画推進委員会(事務次長) ・日野市介護保険運営協議会(総務係) ・日野市居住支援協議会(総務係) ・日野市住宅ストック活用推進協議会準備会(地域支援係) ・日野市生活困窮者自立支援相談事業支援調整会議(ボランティア係) ・日野市摂食・嚥下機能支援推進協議会(在宅サービス係)

公益事業拠点区分

福祉センター管理事業

事業名	日野市立中央福祉センターの管理運営					
事業形態	指定管理者制度（平成24年4月1日～平成29年3月31日）					
財源内訳	受託金（指定管理料）、利息					
担当係	総務係					
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ					
目的	各種福祉団体の連絡・調整し、社会福祉の啓発や市民の健康増進、地域福祉の推進等を図るとともに、利用者が安全に利用できるよう施設運営に努める。					
事業内容	1. 快適な施設利用への配慮、安全かつ効率的な施設運営					
実績報告	1) 施設概要 開館日 火曜日～日曜日 ※こどもの日を除く祝日は休館 入浴事業 火・木曜日 10:00～15:00					
	2) 利用実績					
		利用者			入浴事業利用者	
		開館日数	利用団体数	利用者数	日数	計
	28年度	298日	3,127団体	49,508人	98日	3,824人
	27年度	300日	3,172団体	47,951人	100日	4,035人
	3) 施設管理に関わる保守委託業務 ①館内清掃 ②空調設備 ③自動扉 ④階段昇降機 ⑤ヘルストロン ⑥消防用設備 ⑦夜間警備					
	4) 修繕箇所					
	1	ヘルストロン高圧コード配線工事		6	女子トイレ1階洋便器交換工事	
	2	館内表示板交換工事		7	冷温水器減圧弁交換工事	
3	娯楽室1床張替工事		8	給湯室給湯機交換工事		
4	冷温水器機ポンプ交換工事		9	給湯室コンセント修繕		
5	ボランティアセンターエアコン設置		10	冷温水器インビーター投入作業		
5) 女子トイレ修繕工事 ※日野市と本会で修繕費を折半 ※その他、日野市による老人娯楽室1エアコン3台設置						
事業効果・評価方向性等	・冷温水発生器の故障が重なって発生。都度日野市と協議し適宜修繕を行った。空調設備の老朽化の対応として、老人娯楽室1・2に電気系統の業務用エアコンを3台設置した。 ・防水対策など今後も日野市との協議を重ね、施設の安全確保かつ効率的な運営を図るよう努めていく必要がある。 ・車いす利用者の増加により、車いす昇降機の操作説明を受付スタッフに行い、適切な対応ができるよう努めた。					

事業名	日野市立湯沢福祉センターの管理運営					
事業形態	指定管理者制度（平成24年4月1日～平成29年3月31日）					
財源内訳	受託金（指定管理料）、利息					
担当係	総務係					
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ					
目的	各種福祉団体の連絡・調整し、社会福祉の啓発や市民の健康増進、地域福祉の推進等を図るとともに、利用者が安全に利用できるよう施設運営に努める。					
事業内容	1. 快適な施設利用への配慮、安全かつ効率的な施設運営					
実績報告	1) 利用概要 開館日 火曜日～日曜日 ※こどもの日を除く祝日は休館 入浴事業 水・金曜日 10:00～15:00					
	2) 利用実績					
		利用者			入浴事業利用者	
		開館日数	利用団体数	利用者数	日数	計
	28年度	297日	1,409団体	15,089人	100日	2,262人
	27年度	300日	1,378団体	14,659人	99日	2,276人
	3) 施設管理に関わる保守委託業務 ①空調設備 ②受水槽清掃・水質検査業務 ③スカイウェル ④消防用設備 ⑤夜間警備					
	4) 修繕箇所					
	1	1階給湯機交換工事				
	2	1階トイレ温水洗浄便座交換工事				
事業効果・評価方向性等	・施設が老朽化しているため、安全、利用面を日野市と相談しながら適宜修繕を行った。・今年度末を以って5年間の指定管理者の計画期間満了を迎え業務終了となった。次年度からの指定管理事業者「公益財団法人社会教育協会ひの社会教育センター」へ業務の引継ぎを行った。					

高齢者就業創出支援事業

事業名	高齢者就業創出支援事業									
事業形態	補助事業									
財源内訳	補助金、繰入金、利息									
担当係	しごとサポートひの									
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ									
目的	高年齢者の就労機会の創出、社会参加の機会を促進する。									
事業内容	1. 利用者の拡大・広報周知									
実績報告	市広報、社協だより、インターネット、自治会を通して事業案内を幅広くPRして利用者の拡大を図った。									
	新規求職者数	再来求職者数	閲覧・相談者数	紹介件数	就職者数					
	326人	480人	274人	120件	36人					
	<就職先職種> 事務3人、販売1人、調理1人、管理員3人、警備員7人、清掃4人 用務員3、運転手3人、介護員4人、技術1人、その他の労務6人									
	<就職者年齢別内訳> <table><tr><td>50歳～64歳</td><td>65歳～69歳</td><td>70歳以上</td></tr><tr><td>18人</td><td>13人</td><td>5人</td></tr></table>					50歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	18人	13人
50歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上								
18人	13人	5人								
事業内容	2. 求人事業所への積極的な開拓									
実績報告	所受求人件数 599 件、自所受求人延人数 2,216 人									
事業効果・評価 方向性等	就業先の確保、拡大にむけて新聞折込みチラシ掲載求人の事業所、面接会参加事業所への周知を図り、自所受求人件数の増加に努めた。									
事業内容	3. 高年齢者就労支援セミナー									
実績報告	<高年齢者の就業支援・スキルアップ> 今年度は就職率アップを目的に面接会1回、セミナー2回実施し、新規求職登録者を増やした。									
	【セミナー】(会場)日野市生活保健センター (共催)日野市、(公財)東京しごと財団									
	開催日	参加者	テーマ(講師)							
	9/15	36名	「無理をしない職種の選び方」(菊地克幸氏)							
	3/16	41名	「ライフスタイルと仕事再発見」(中村康雄氏)							
事業効果・評価 方向性等	【面接会】(会場)立川グランドホテル (共催)日野市、立川市、東大和市、武蔵村山市 しごとサポートひの、立川商工会議所無料職業紹介所、東京しごとセンター多摩の3機関合同による就職面接会を開催した。 来場者数200名。									
	【セミナー】受講者から「仕事の探し方、面接の対策など大変参考になりました。」「高齢者の就職に希望がもてました。」と全体的に良い評価をいただいた。 【面接会】新規求職登録者、就職者件数を増やし高年齢者就業機会拡大に向けて成果を得た。									

収益事業拠点区分

事業名	自動販売機設置管理事業		
財源内訳	手数料、利用料、利息		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	公共施設に自動販売機や中央福祉センター内に印刷機を設置し、施設の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。		
事業内容	1. 自主財源の確保		
実績報告	1) 自動販売機の設置		
	①実績		
		台数	ロケマージン
	28年度	26台	6,645,807円
	27年度	25台	6,338,740円
	②設置場所 14ヶ所（台数）		
	・日野市役所1階(5)		
	・クリーンセンター(2)		
	・中央福祉センター(2)		
	・生活・保健センター(1)		
・中央公民館(1)			
・教育センター(1)			
・PlanT(1)			
・南平体育館(3)			
・福祉支援センター(1)			
・湯沢福祉センター(1)			
・ひの煉瓦ホール(4)			
・勤労・青年会館(1)			
・ふるさと歴史館(2)			
・百草コミュニティセンター(1)			
2) 印刷機等の貸出			
①実績			
	件数	利用料	
28年度	82件	143,614円	
27年度	84件	160,545円	
事業効果・評価方向性等	・多摩平の森産業連携センターPlanTに新規1台設置。（東京キリンビバレッジサービス） ・南平体育館の利用者の要望によりペットボトル自販機へ機器の交換。（サントリービバレッジサービス）		

事業名	日野市役所内売店の運営										
事業形態	収益事業										
財源内訳	売上金、利息										
担当係	総務係・日野市役所内売店										
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ										
目的	日野市役所内売店を運営し、市役所の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。										
事業内容	1. 財源の確保										
実績報告	1) 運営概要 営業日時 月～金曜日（9:30～16:30） ※祝日・年末年始を除く 従業員 管理責任者1人、補助職員2人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>売上</th><th>商品残高</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28年度</td><td>24,005,354円</td><td>2,136,338円</td></tr> <tr> <td>27年度</td><td>23,646,118円</td><td>1,954,538円</td></tr> </tbody> </table>			売上	商品残高	28年度	24,005,354円	2,136,338円	27年度	23,646,118円	1,954,538円
	売上	商品残高									
28年度	24,005,354円	2,136,338円									
27年度	23,646,118円	1,954,538円									
事業内容	2. 障害者の社会参加の促進										
実績報告	品出し・販売業務補助委託：社会福祉法人青い鳥福社会 訓練生（障害者）：3人										
事業効果・評価 方向性等	・障害者の社会参加・自立支援を目的に「障害者施設あおいとり日野」の利用者を実習生として受入れ（実習生派遣委託）、清掃や品出しなどの事務作業を行っている。 ・より多くの障害者に社会参加が図られるよう受入施設についての協議を行っていく。 ・売店事業単独では厳しい経営となっており、健全経営が図れるよう引き続き検討を行っていく。										

共同募金運動

赤い羽根共同募金運動

事業名	東京都共同募金会 日野地区協力会（募金業務）		
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）		
財源内訳	地区協力会事務費		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	東京都共同募金会日野地区協力会事務局として、日野地区における赤い羽根共同募金運動の普及・啓発に努め、社会福祉施設が行う事業の助成金として活用し、東京都ならびに日野市の社会福祉事業の推進を図る。		
事業内容	1. 多様な方法による募金の普及・拡大		
実績報告	東京都共同募金会日野地区協力会として、日野地区における赤い羽根共同募金運動（10/1～12/28）を展開し、市民へ協力を呼びかけた。		
	1) 募金実績		
		募金額	内訳
	28年度	2,412,540円	地区募金 1,122,237円 街頭募金 667,035円 自動販売機 623,268円
	27年度	2,416,426円	地区募金 1,210,882円 街頭募金 609,147円 自動販売機 596,397円
	2) 街頭募金活動		
	①活動回数 17回		
	②協力団体 13団体（順不同）		
	・日野市赤十字奉仕団 ・ボーイスカウト日野第4団 ・日野市少年軟式野球連盟 ・日野わかば保育園 ・日野第一中学校ボランティア部 ・日野第二中学校ボランティア部 ・日野第三中学校生徒会、合唱部、ボランティア部 ・大坂上中学校演劇部 ・都立日野高等学校生徒会 ・都立日野台高等学校生徒会 ・都立日野台高等学校PTA ・あおいとり日野 ・すずかけの家		
	3) 赤い羽根共同募金へ寄附する自動販売機設置		
	協賛企業：東京キリンビバレッジサービス(株)・(株)伊藤園 FV イーストジャパン(株) サントリービバレッジサービス(株)（新規）		

	①日野市社会福祉協議会による設置 8ヶ所 ・多摩平の森産業連携センターPlanT(新規) ・日野市役所 ・福祉支援センター ・クリーンセンター ・南平体育館 ・中央福祉センター ・百草台コミュニティセンター ・中央公民館 ②他団体による設置 3ヶ所 ・日野市市民の森ふれあいホール ・パチンコRAMO ・日野市立病院 4) 関係部署窓口において募金受付 日野事務所、高幡事務所、日野市役所福祉政策課、七生支所
事業効果・評価 方向性等	・街頭募金ボランティアの協力団体・回数が増え、実績額に大きく影響している。併せて、ボランティアへの共同募金運動の周知を行い、さらなる運動に普及、継続につなげていくことが求められる。 ・赤い羽根共同募金運動へ寄附する自動販売機の設置場所として、南平体育館・中央福祉センター（サントリービバレッジサービス㈱）が加わった。

事業名	東京都共同募金会 日野地区配分推せん委員会（配分業務）
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）
財源内訳	地区配分推せん委員会事務費
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ
目的	東京都共同募金会日野地区配分推せん委員会事務局として、日野市内における社会福祉施設からの『助成金の受付ならびに申請内容の審査・検討』を行い、東京都共同募金会へ推せん・意見書の交付を行う。

事業内容	1. 審査・推せん（推せん・意見書の交付）
実績報告	1) 日野地区配分推せん委員会 委員構成 ・日野市社会法人立保育園連合会 ・暁自治会 ・日野市民生児童委員協議会 ・明星大学きらきらボランティアセンター ・日野市赤十字奉仕団 ・日野市障害福祉課 ・日野市ボランティア・センター ・地域包括支援センター多摩川苑 ・日野社会福祉士会 ・日野市社会福祉協議会 理事 ・市民 2) 委員会の開催 3回開催（7/12, 12/12, 1/20） 3) 地域配分（B配分）の受付ならび審査、推せん額について 申請金額 2,180,000 円（12 団体） 推せん金額 1,430,000 円（10 団体） ※B配分予算 1,570,000 円 4) 全都配分（A配分）の意見書の交付 3 団体（ハートリボン、ディーセント・ワーク平山台、サポート日野）へ交付
事業内容	2. 施設見学会の実施
実績報告	委員による配分団体（28年度受配）施設見学会を実施。 開催日 8/26（金） 見学施設 自立援助ホーム トリノス／すずかけの家 あおいとり日野／ディーセント・ワーク平山台
事業効果・評価 方向性等	・施設を見学することにより、配分金がどのように活用されているか、その効果を確認し、また配分施設の活動や事業内容を知ることができた。 ・委員同士の関係が深まり、助成金の審議・審査時での意見交換等、今後の活発な委員会活動が期待できる。

歳末たすけあい運動

事業名	歳末たすけあい運動の実施									
事業形態	歳末たすけあい運動（共同募金運動）									
財源内訳	歳末たすけあい配分金、事務費									
担当係	総務係									
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ									
目的	日野地区における歳末たすけあい運動の実施主体（主催：東京都共同募金会・主唱：東京都社会福祉協議会）として、運動の普及・啓発に努め、日野市の地域福祉事業の推進を図る。									
事業内容	1. 歳末たすけあい運動の普及・拡大									
実績報告	共同募金運動の一つとして、東京都共同募金会の主催のもと、日野地区における『歳末たすけあい運動』を展開した。									
	1) 運動期間 12/1～12/28									
	2) 募金実績									
	<table><tr><td></td><td>募金額</td><td>内訳</td></tr><tr><td>28年度</td><td>4,173,686円</td><td>戸別募金 2,716,952円 街頭募金 30,812円 バザー募金 1,425,922円</td></tr><tr><td>27年度</td><td>4,418,225円</td><td>戸別募金 2,994,975円 街頭募金 54,640円 バザー募金 1,368,610円</td></tr></table>		募金額	内訳	28年度	4,173,686円	戸別募金 2,716,952円 街頭募金 30,812円 バザー募金 1,425,922円	27年度	4,418,225円	戸別募金 2,994,975円 街頭募金 54,640円 バザー募金 1,368,610円
		募金額	内訳							
28年度	4,173,686円	戸別募金 2,716,952円 街頭募金 30,812円 バザー募金 1,425,922円								
27年度	4,418,225円	戸別募金 2,994,975円 街頭募金 54,640円 バザー募金 1,368,610円								
3) 街頭募金活動										
■活動回数 3回 (12/17.19.22)										
■協力団体 3団体 日野第三中学校ボランティア部、七生中学校生徒会 あおいとり日野										

事業内容	2. 歳末たすけあいバザー												
実績報告	歳末たすけあい運動の一環として、バザーを開催し、歳末たすけあい運動の広報周知活動を行うとともに、収益金を歳末たすけあい募金とした。												
	1) 共 催 日野市民生・児童委員協議会・日野市赤十字奉仕団												
	2) 歳末たすけあいバザー												
	<table><tr><td></td><td>日程</td><td>バザーからの募金額</td><td>場所</td></tr><tr><td>28年度</td><td>12/4</td><td>1,425,922円</td><td>中央福祉センター&駐車場</td></tr><tr><td>27年度</td><td>12/6</td><td>1,368,610円</td><td>中央福祉センター&駐車場</td></tr></table>		日程	バザーからの募金額	場所	28年度	12/4	1,425,922円	中央福祉センター&駐車場	27年度	12/6	1,368,610円	中央福祉センター&駐車場
		日程	バザーからの募金額	場所									
	28年度	12/4	1,425,922円	中央福祉センター&駐車場									
	27年度	12/6	1,368,610円	中央福祉センター&駐車場									
	3) 模擬店出展団体 12 団体												
	・夢ふうせん												
	・日野市聴覚障害者協会（ひのたま会）												
・東京光の家													
・日野市手をつなぐ親の会													
・あおいとり日野													
・障害者問題を考える会													
・共働作業所あいあむ													
・リンゴ村カレー													
・chica y chico													
・児童部会													
・南平地区社会福祉協議会（ぷらっと南平）													
・たまりば													
事業効果・評価 方向性等	・個人（団体）からの募金が減少したが、関連イベントとして実施したバザーからの募金額は前年度を上回った。街頭募金やバザー等を通じて多様な方法で広く広報周知すること、地域に運動の理解を深めていくことが課題となる。												

日野市社会福祉協議会組織体制



